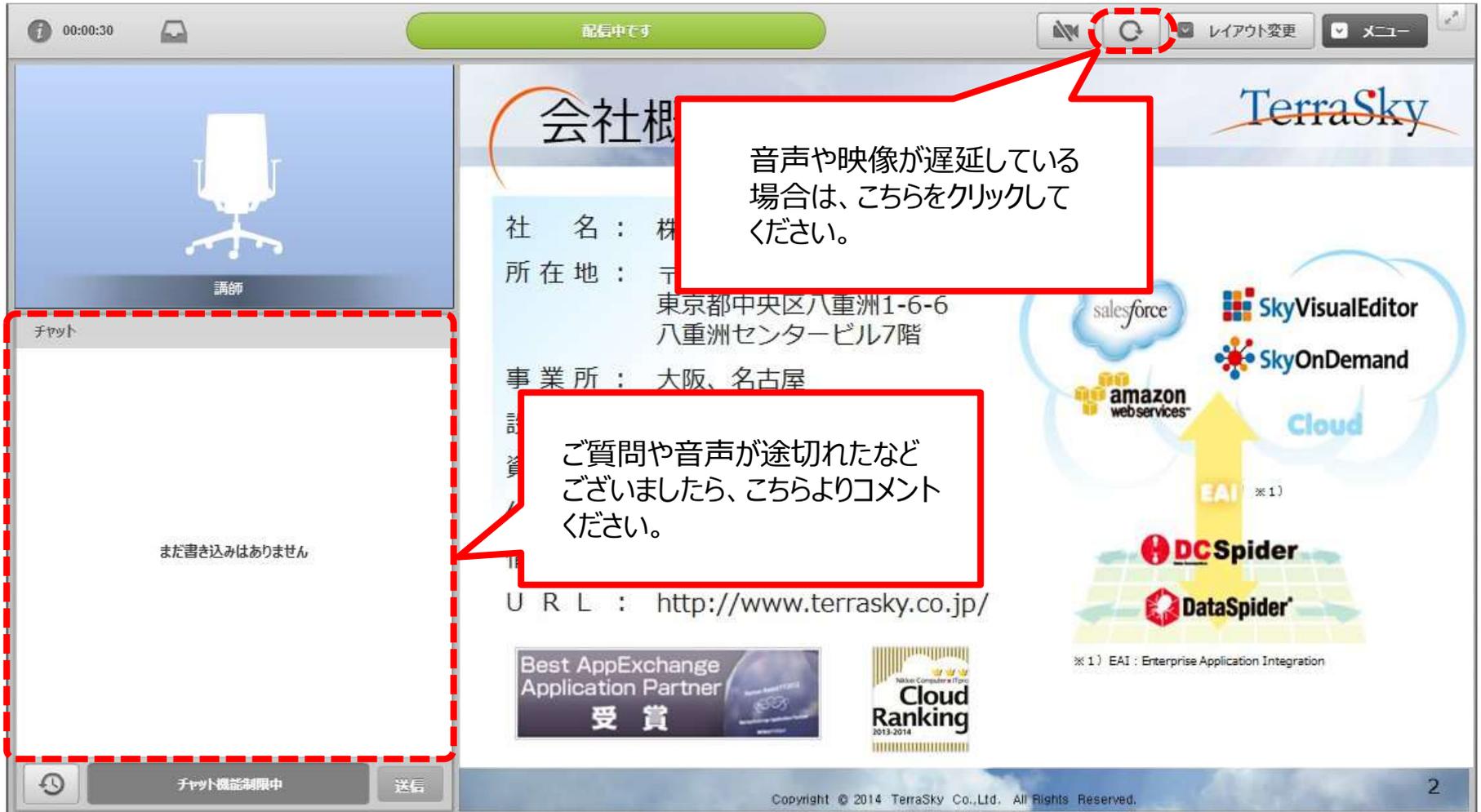


SkyOnDemandオンラインセミナー

～第6回：基本編～

使ってみよう① 連携フロー：繰り返し、変数代入、条件分岐で
柔軟な業務フローを自動化



00:00:30 配信中です

音声や映像が遅延している場合は、こちらをクリックしてください。

ご質問や音声途切れたなどございましたら、こちらよりコメントください。

まだ書き込みはありません

チャット機能制限中 送信

Copyright © 2014 TerraSky Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2

SkyOnDemandの活用術を、毎月テーマに沿ってお届けします。
過去のウェビナーの動画・資料は、下記URLよりご覧頂けます。

<http://www.terrasky.co.jp/document/skyondemand/>



The screenshot shows a web browser window with the URL www.terrasky.co.jp/document/skyondemand/. The page features the TerraSky logo and navigation links for products, services, case studies, and company information. The breadcrumb trail indicates the current location: HOME > コンテンツライブラリ > SkyOnDemand/DCSpider. The main heading is "資料ダウンロード : SkyOnDemand/DCSpider". Two seminar entries are listed:

- SkyOnDemand オンラインセミナー ～第2回 基本編～**
2014年06月19日 | SkyOnDemand/DCSpider
さわってみよう【1】 取引先データをSalesforceへファイル連携 (25分)
- SkyOnDemand オンラインセミナー ～第1回 準備編～**
2014年05月29日 | SkyOnDemand/DCSpider
SkyOnDemandにログインしてみよう (23分)

～第6回：基本編～

使ってみよう①
～連携フロー：繰り返し、変数代入、条件分岐～



本日のゴール

各アイコン「繰り返し」「変数代入」「条件分岐」の使い方を理解する。

① 繰り返し処理

指定した回数分処理を繰り返したり、入力データの件数分処理を繰り返したり、また指定された条件を満たしている間、処理を繰り返し実施することが出来ます。

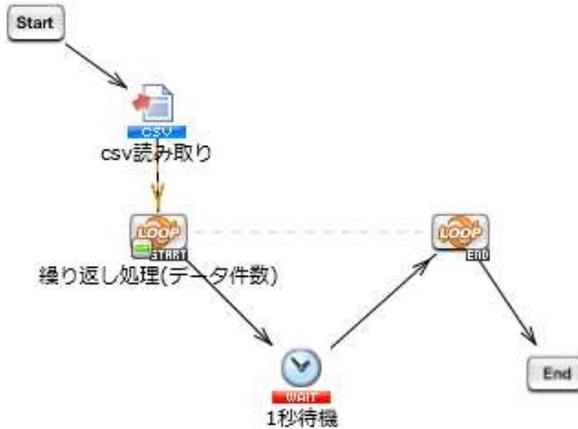
② 変数代入

スクリプト単位で使用可能な「スクリプト変数」に一時的に値を格納することが出来ます。スクリプト変数に格納された値を他の機能で参照することが出来ます。

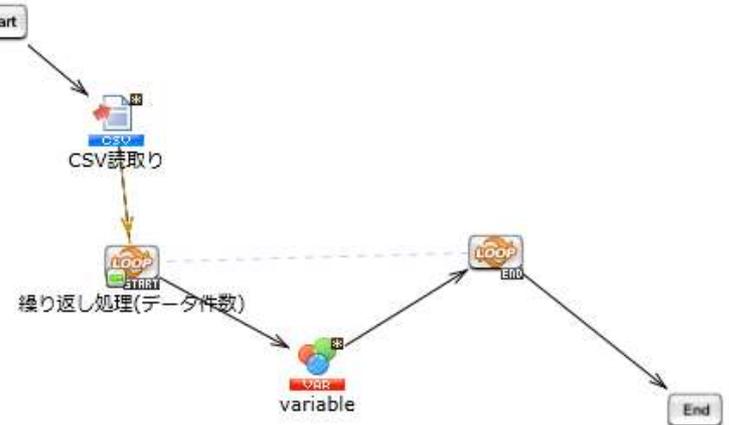
③ 条件分岐

条件に応じて、条件毎に実行する処理内容を設定することが出来ます。条件判定には、スクリプト変数の値を判定することもできます。

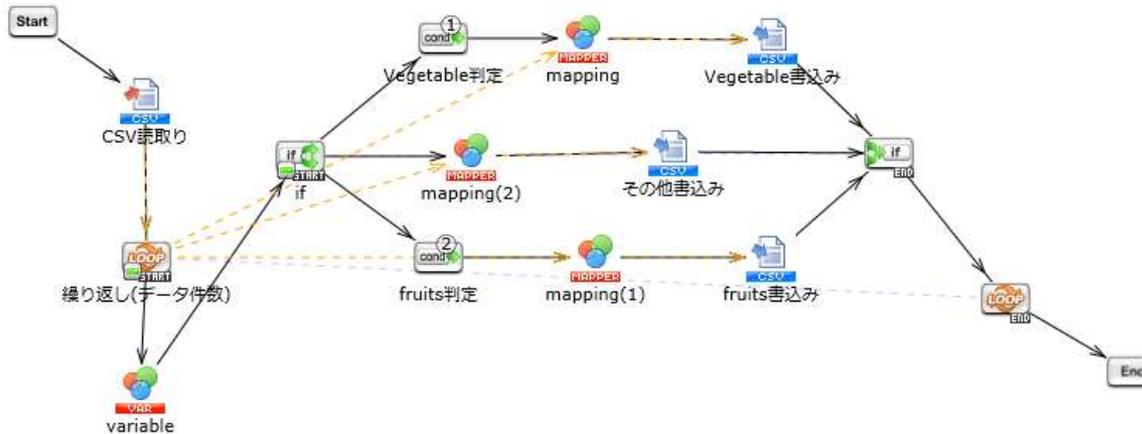
① 繰り返し処理



② 変数代入処理



③ 条件分岐処理



使ってみよう！

①繰り返し処理(1/11)

【作成処理】

「繰り返し処理」を利用して、読み取りデータ1件毎に1秒待機する処理を作成します。

完成イメージ

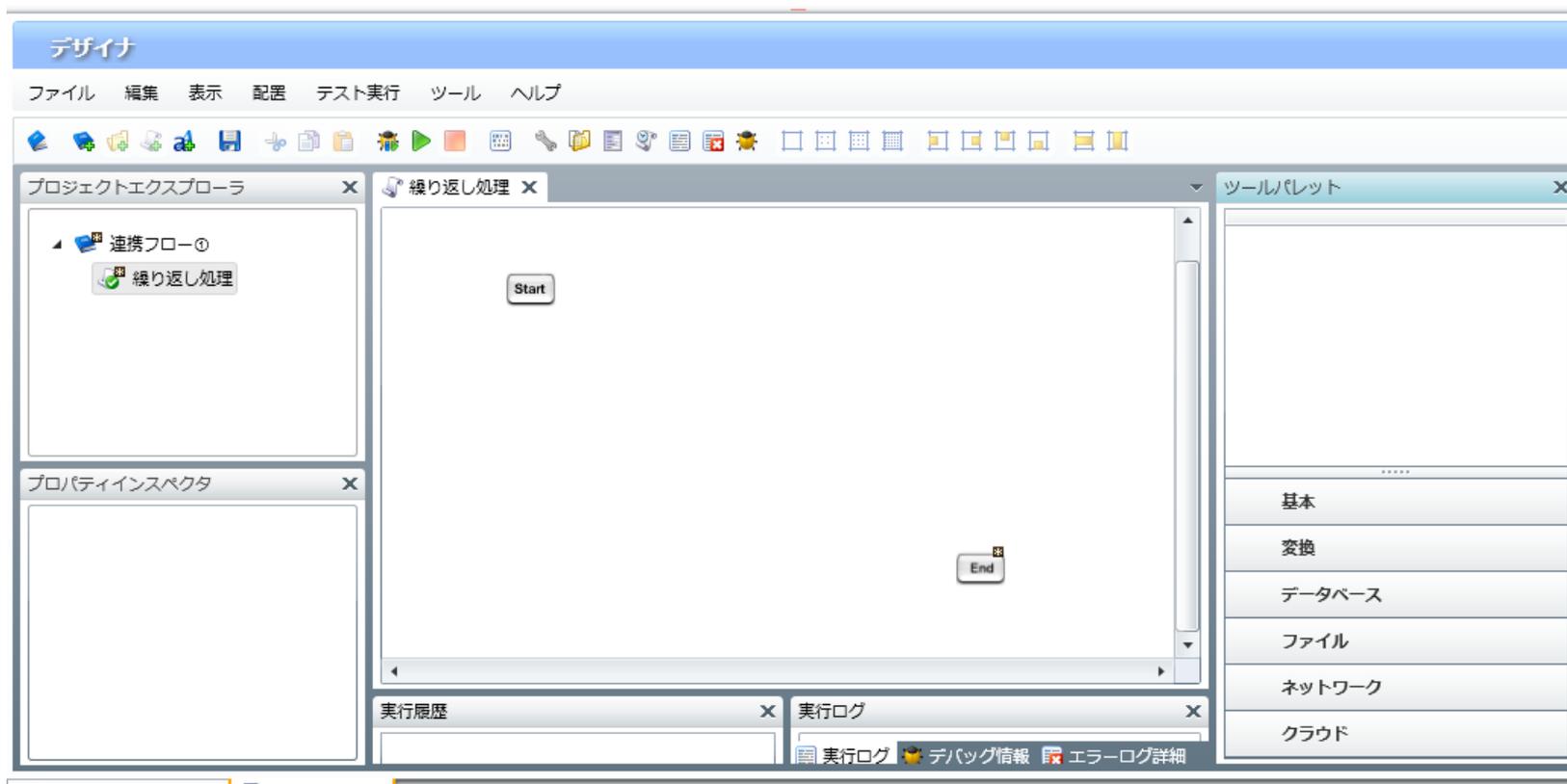


①繰り返し処理(2/11)

①新しいプロジェクトとスクリプトを立ち上げます。

画面上にデザイナー画面が表示されます。

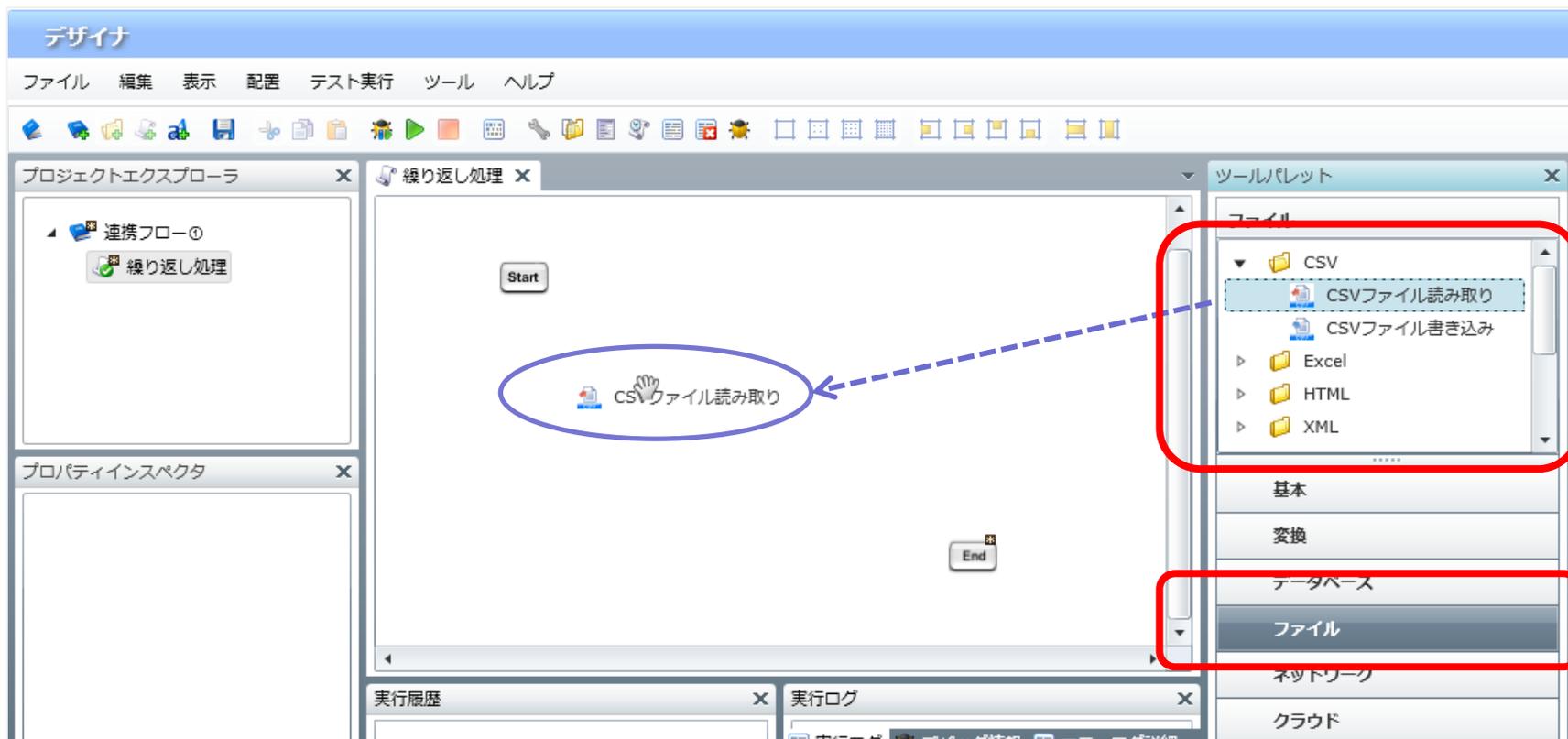
※プロジェクトとスクリプトの作成方法は、第2回オンラインセミナーの資料P18をご確認ください。



①繰り返し処理(2/11)

②CSVファイル「Products.csv」を読み取り

ツールパレット> ファイル> CSV> CSVファイル読み取りアイコンをキャンバスにドラッグします。



① 繰り返し処理(3/11)

② CSVファイル「Products.csv」を読み取り

- CSVファイル読み取りウィンドウが表示されます。ファイルの格納先を選択し、列一覧の更新をクリックします。
- 「読み取り設定」タブを開き、「最初の行は値として取得しない」にチェックを入れます。
- 完了をクリックします。



CSVファイル読み取り処理のプロパティ

CSVファイル読み取り処理
CSVファイル読み取り処理のプロパティを設定します。

名前

必須設定 **読み取り設定** データ処理方式 コメント

ファイル

プレビュー...

デリミタモード 一覧から選択 直接入力 文字コード入力

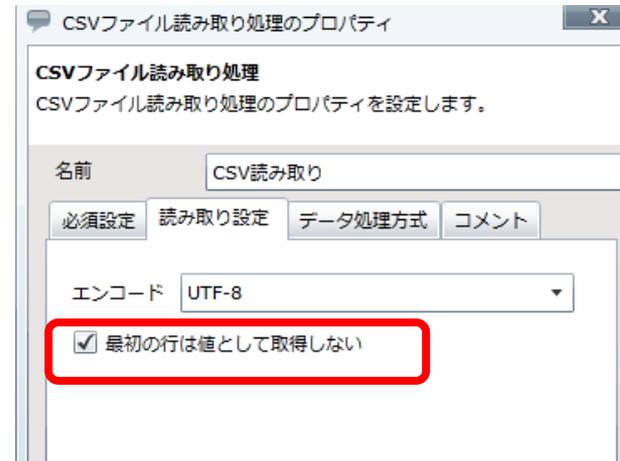
デリミタ文字

列一覧

列名	操作
Product_code	上へ
Product_category	下へ
Product_name	追加
Product_price	削除

ファイルの一行目から列名を読み取り...

ファイルから列数を読み取り...



CSVファイル読み取り処理のプロパティ

CSVファイル読み取り処理
CSVファイル読み取り処理のプロパティを設定します。

名前

必須設定 **読み取り設定** データ処理方式 コメント

エンコード

最初の行は値として取得しない

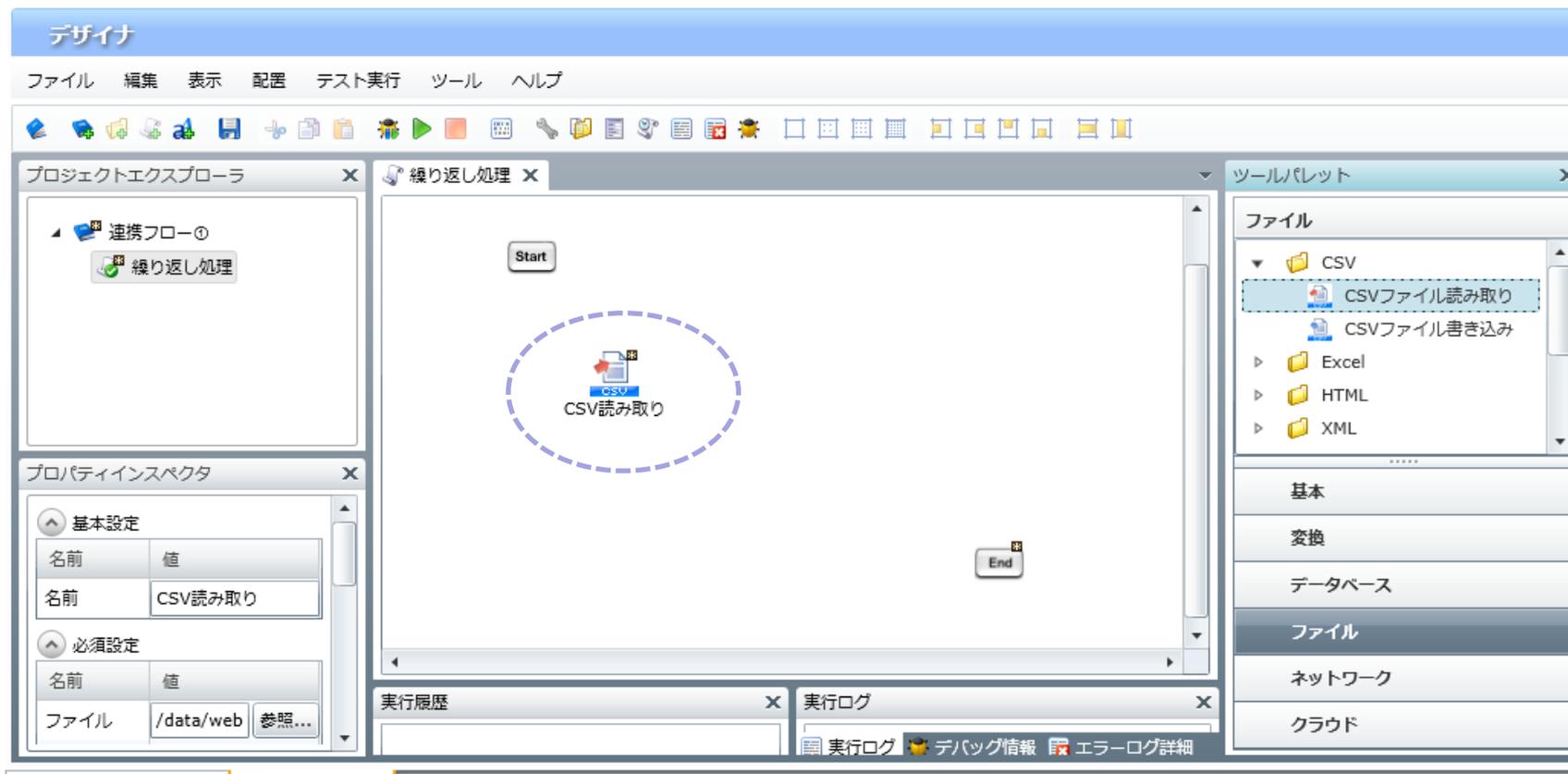
● 今回読み取るCSVファイル

```

ファイル(F) 編集(E) 検索(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ツール(T) ヘルプ(H)
  1 Product_code,Product_category,Product_name,Product_price
  2 B0001,Vegetable,キャベツ,150
  3 B0002,fruits,イチゴ,400
  4 B0003,Vegetable,大根,190
  5 B0004,fruits,バナナ,200
  6 B0005,Vegetable,ブロッコリー,100
  7 B0006,Vegetable,玉ねぎ,200
  8 B0007,fruits,チェリー,400
  9 B0008,Vegetable,ジャガイモ,200
 10 B0009,fruits,ブドウ,350
 11 B0010,fish,サーモン,400
 12 [EOF]
  
```

①繰り返し処理(4/11)

②CSVファイル「Products.csv」を読み取り これでCSVファイルの読み取り設定は完了です。



The screenshot displays the software's design environment. The main workspace shows a flowchart with a 'Start' node, a 'CSV読み取り' (CSV Reading) task node circled in blue, and an 'End' node. The 'ツールパレット' (Tool Palette) on the right is open to the 'ファイル' (File) category, with 'CSVファイル読み取り' (CSV File Reading) selected. The 'プロパティインスペクタ' (Property Inspector) at the bottom left shows the following settings:

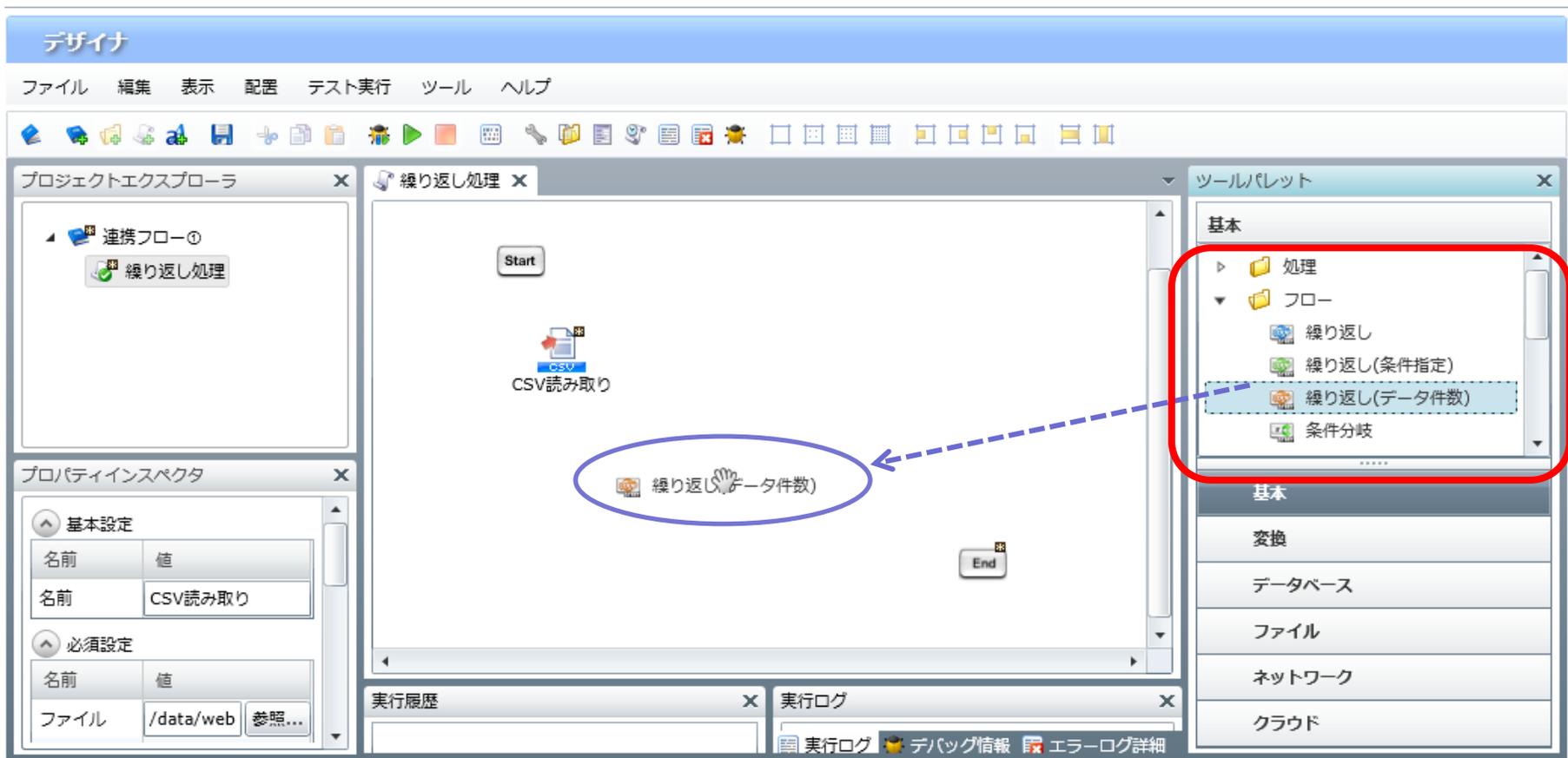
設定	名前	値
基本設定	名前	値
	名前	CSV読み取り
必須設定	名前	値
	ファイル	/data/web 参照...

The bottom status bar includes '実行履歴' (Execution History), '実行ログ' (Execution Log), and 'エラーログ詳細' (Error Log Details).

①繰り返し処理(5/11)

③繰り返し処理の設定

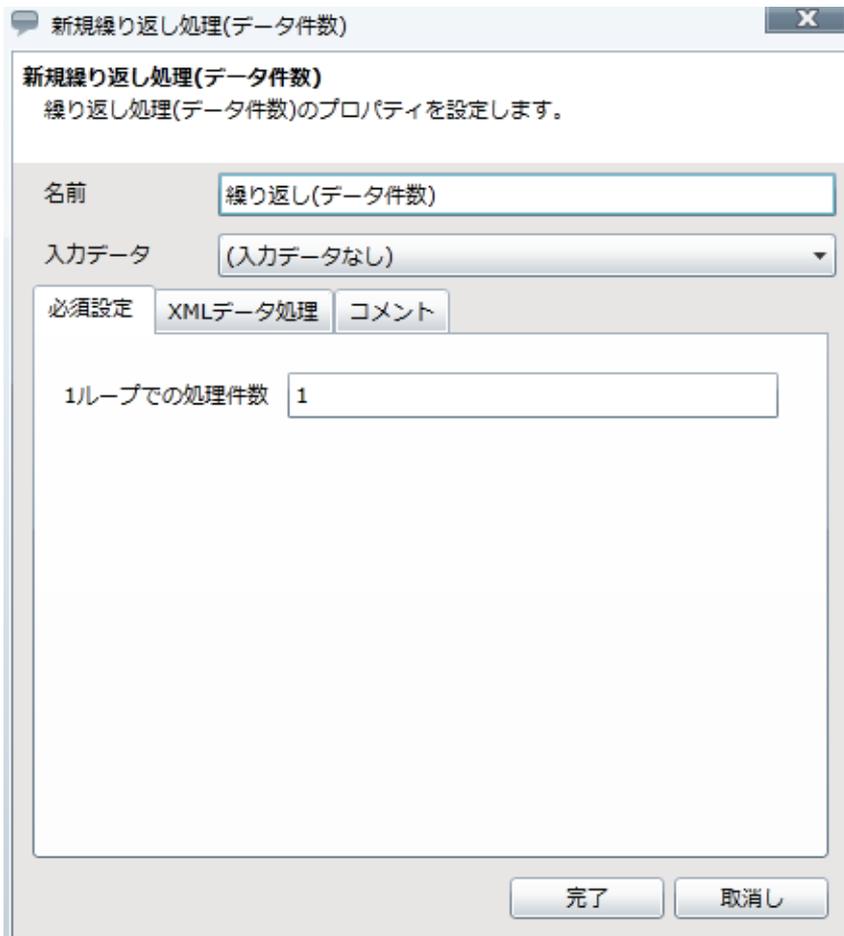
ツールパレット> 基本> フロー> 繰り返し(データ件数)アイコンをキャンバスにドラッグします。



① 繰り返し処理(6/11)

③ 繰り返し処理の設定

繰り返し処理設定ウィンドウが開きます。今回は、デフォルト設定のまま進めます。



繰り返しには3つのアイコンがあります。

① 繰り返し

指定した回数分処理を繰り返します。

② 繰り返し(条件指定)

指定した条件を満たしている間、処理を繰り返します。

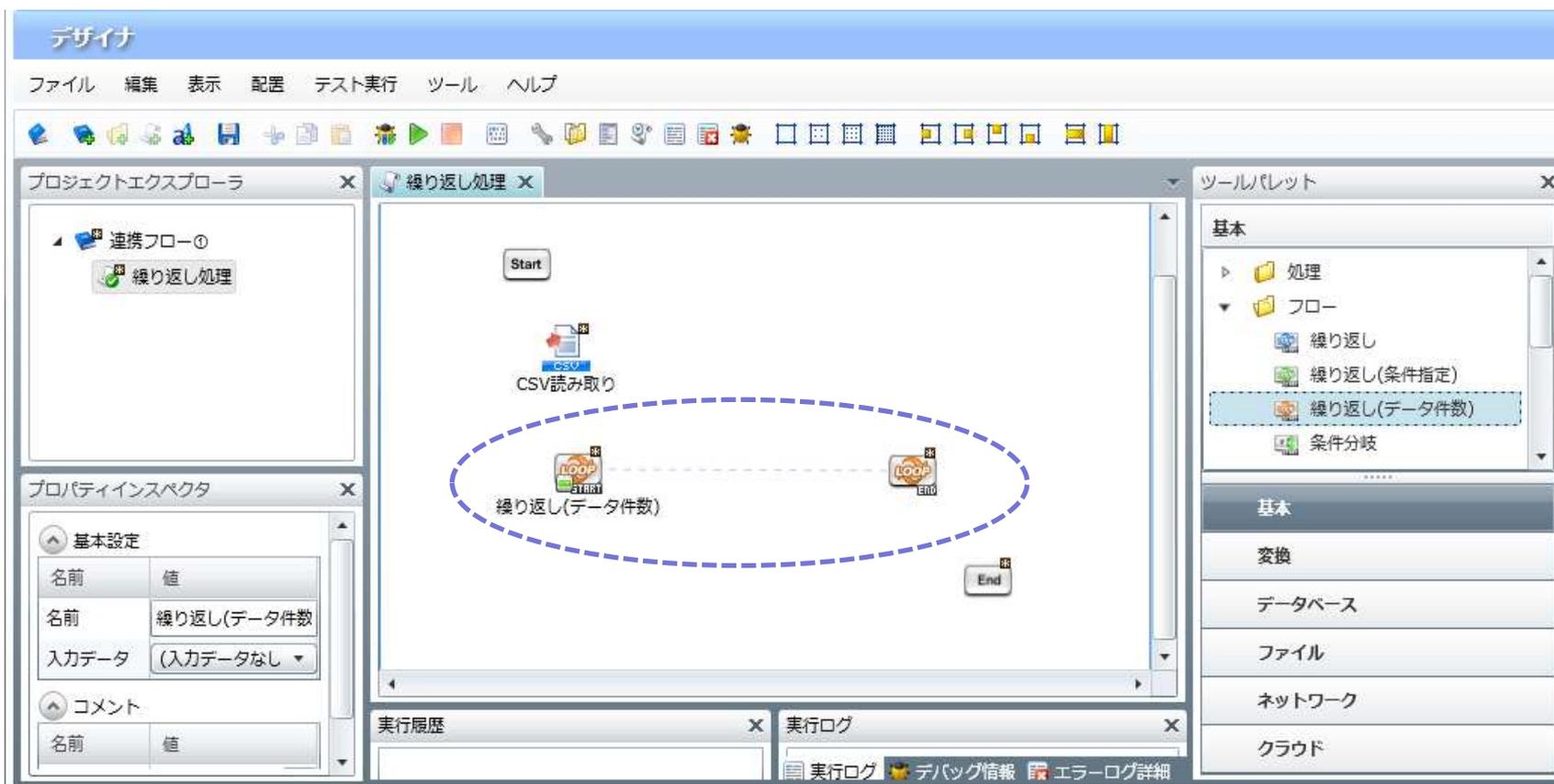
③ 繰り返し(データ件数)

入力データの件数分、処理を繰り返します。データベースやExcelなどのテーブルモデル型データの場合にはレコードが繰り返しの単位となります。

①繰り返し処理(7/11)

③繰り返し処理の設定

繰り返しスタートと繰り返しエンドアイコンが設定されました。
これで繰り返しアイコンの設定は完了です。



The screenshot displays the SkyOnDemand flow designer interface. The main workspace shows a flow diagram with the following elements:

- Start** icon at the top left.
- CSV読み取り** (CSV Load) icon below the start.
- A **繰り返し処理(データ件数)** (Loop by Data Count) icon, which is a rounded rectangle containing a **LOOP START** icon on the left and a **LOOP END** icon on the right. This icon is highlighted with a dashed blue oval.
- End** icon at the bottom right.

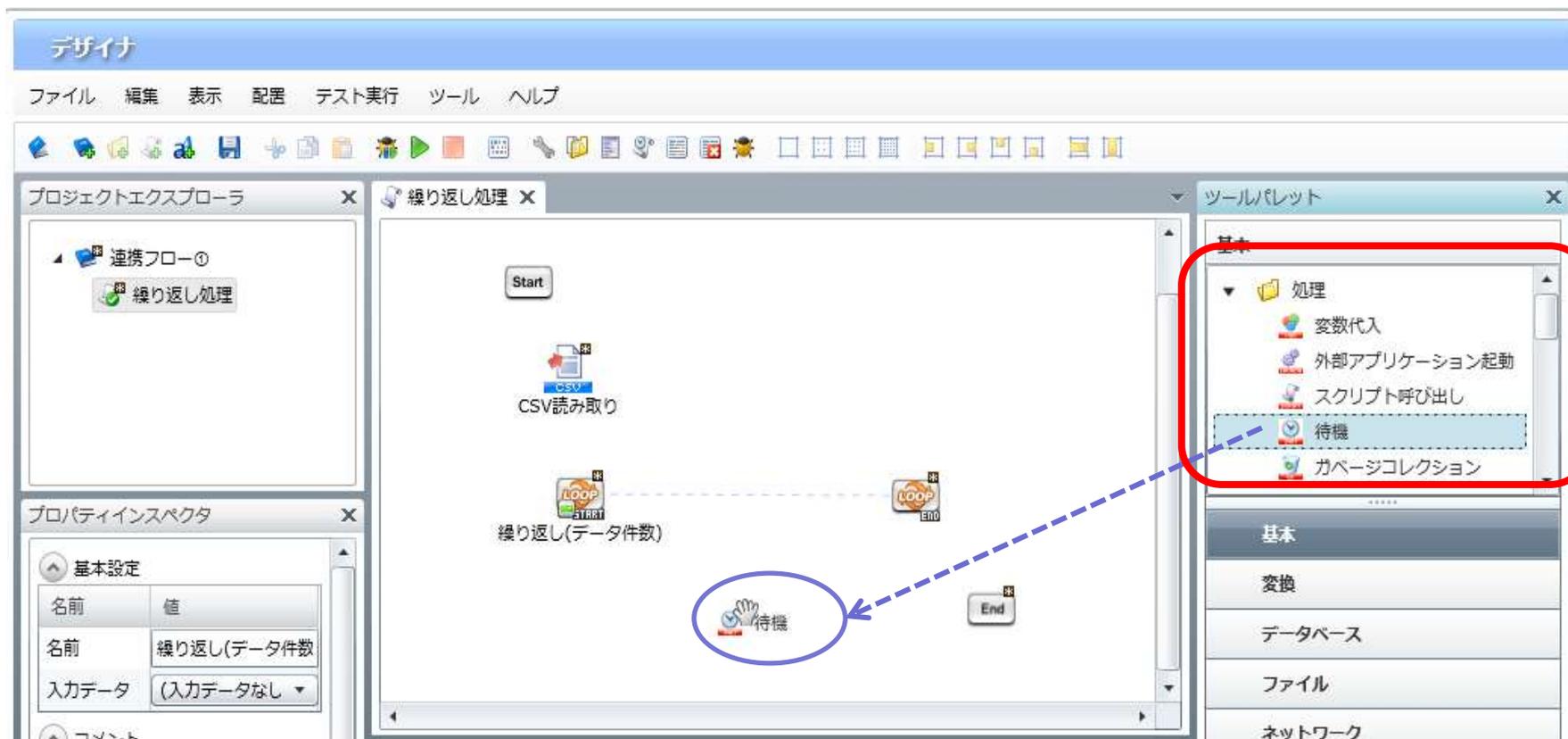
The interface includes several panels:

- プロジェクトエクスプローラ** (Project Explorer) on the left, showing a tree view with "連携フロー①" and "繰り返し処理".
- プロパティインスペクタ** (Property Inspector) at the bottom left, showing the "基本設定" (Basic Settings) for the selected loop icon, with "名前" (Name) set to "繰り返し処理(データ件数)" and "入力データ" (Input Data) set to "(入力データなし)".
- ツールパレット** (Tool Palette) on the right, showing a tree view of flow elements. The "繰り返し処理(データ件数)" icon is selected and highlighted with a dashed blue box.
- 実行履歴** (Execution History) and **実行ログ** (Execution Log) panels at the bottom.

① 繰り返し処理(8/11)

④ 1秒待機の設定

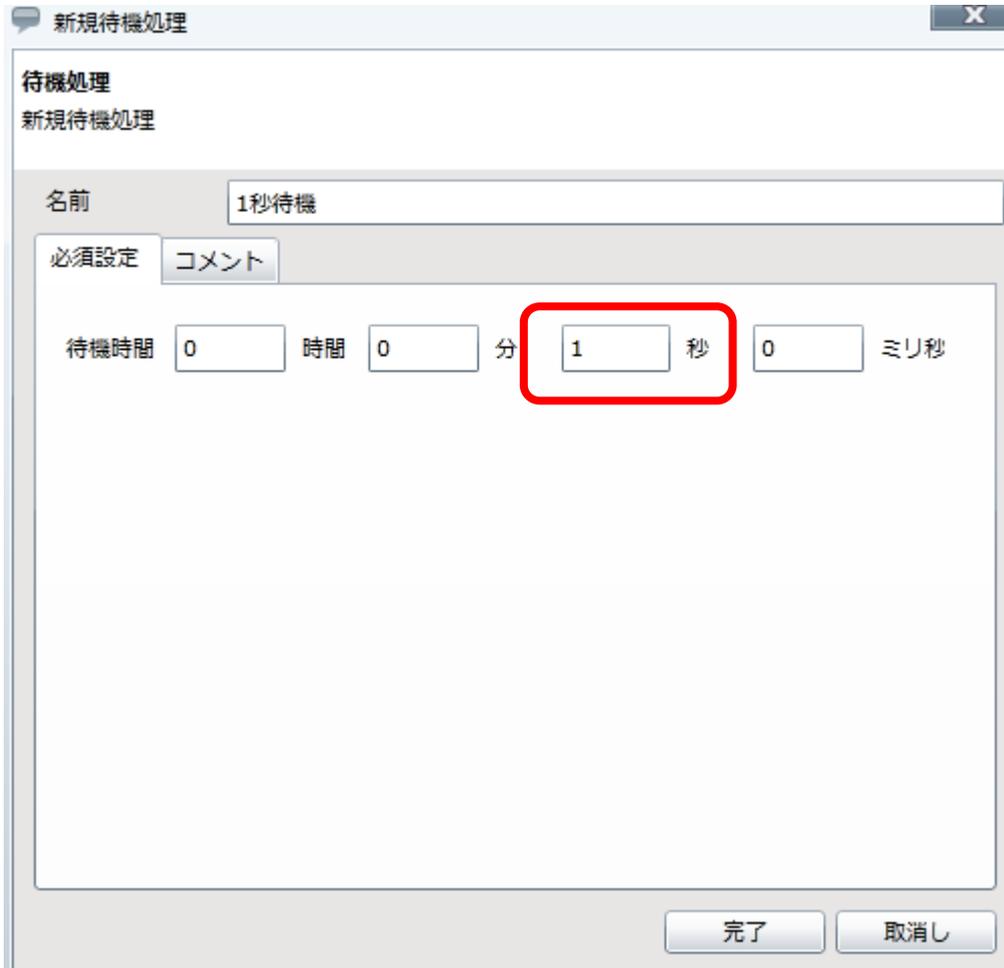
ツールパレット > 基本 > 待機アイコンをキャンバスにドラッグ & ドロップします。



① 繰り返し処理(9/11)

④ 1秒待機の設定

待機設定プロパティが開きます。今回は「1秒」と設定をします。



新規待機処理

待機処理
新規待機処理

名前

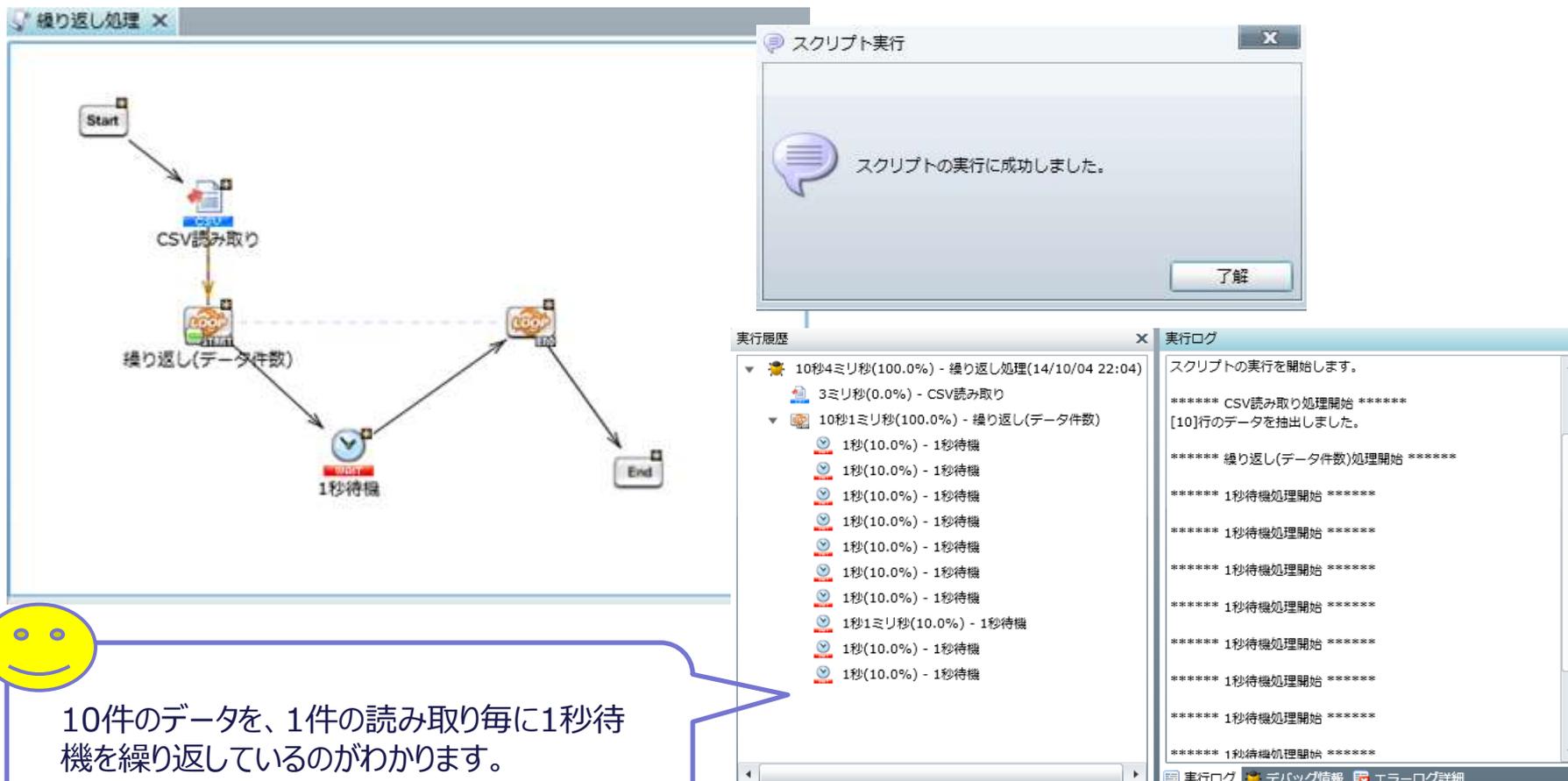
必須設定

待機時間 時間 分 秒 ミリ秒

① 繰り返し処理(10/11)

⑤ 繰り返し処理の完成

最後に、設定したアイコンをスタートからエンドに向けてフローを引きます。
画面上のデバック実行で処理を確認してみましょう。



The screenshot displays a workflow editor window titled '繰り返し処理' (Loop Processing). The workflow starts with a 'Start' icon, followed by a 'CSV読み取り' (CSV Loading) icon, then a '繰り返し(データ件数)' (Loop (Data Count)) icon. The loop contains a '1秒待機' (1-second wait) icon. The workflow ends with an 'End' icon. A 'スクリプト実行' (Script Execution) dialog box is open, displaying a message: 'スクリプトの実行に成功しました。' (Script execution was successful). Below the dialog, there are two windows: '実行履歴' (Execution History) and '実行ログ' (Execution Log). The '実行履歴' window shows a tree view of the execution steps, including '10秒4ミリ秒(100.0%) - 繰り返し処理(14/10/04 22:04)', '3ミリ秒(0.0%) - CSV読み取り', and '10秒1ミリ秒(100.0%) - 繰り返し(データ件数)'. The '実行ログ' window shows the execution log, including the start of CSV loading, the extraction of 10 rows of data, and the start of the loop processing.

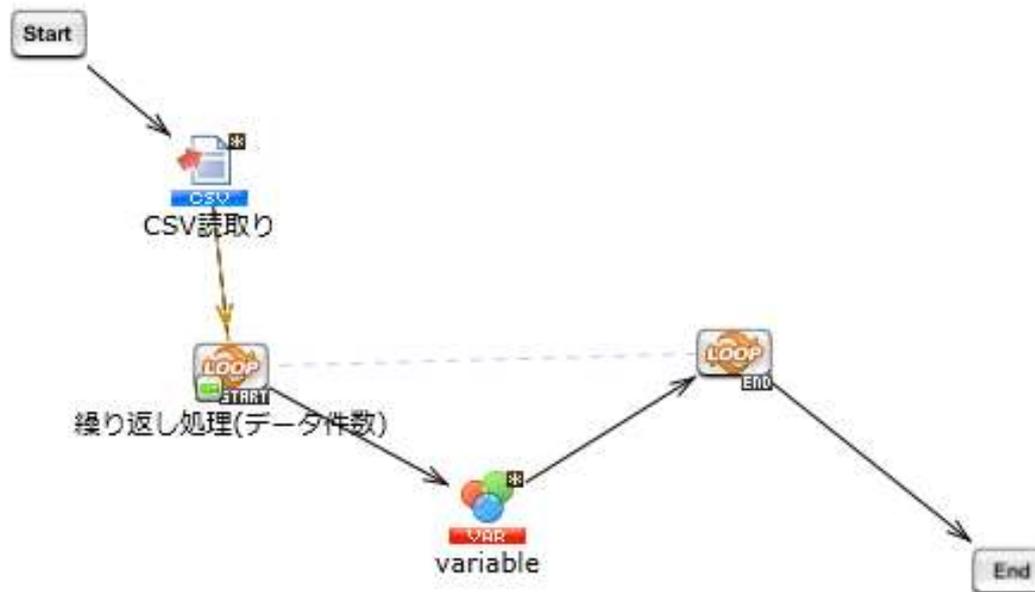
10件のデータを、1件の読み取り毎に1秒待機を繰り返しているのがわかります。

②変数代入(1/6)

【作成処理】

「変数代入」を利用して、データ1件取得毎に値を変数に代入します。

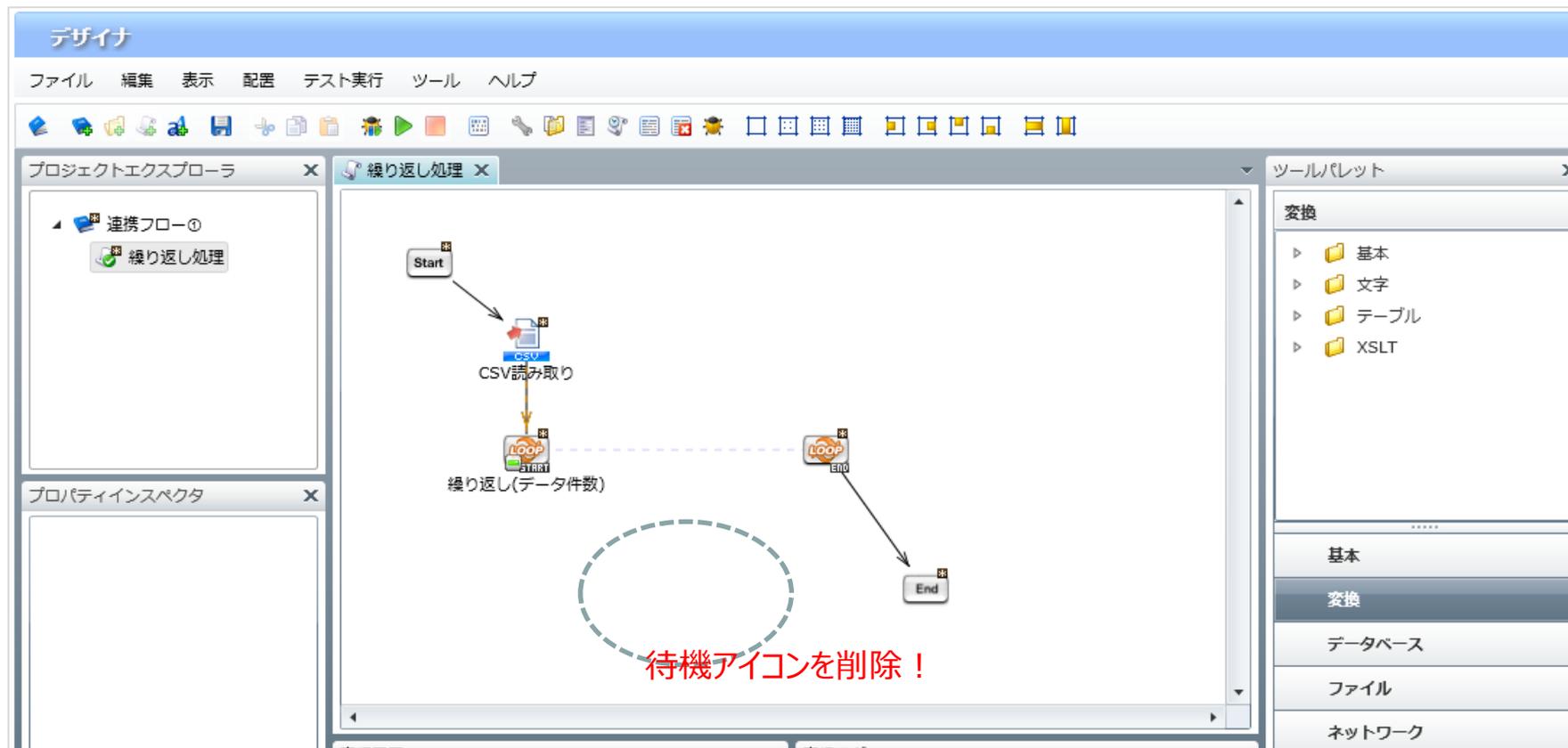
完成イメージ



②変数代入(2/6)

①スクリプト変数の設定

先ほどの処理から続けて作成をします。
まずは「1秒待機アイコン」を削除します。



デザイン

ファイル 編集 表示 配置 テスト実行 ツール ヘルプ

プロジェクトエクスプローラ

連携フロー①

繰り返し処理

ツールパレット

変換

- 基本
- 文字
- テーブル
- XSLT

基本

変換

データベース

ファイル

ネットワーク

Start

CSV読み取り

LOOP START

繰り返し(データ件数)

待機アイコンを削除!

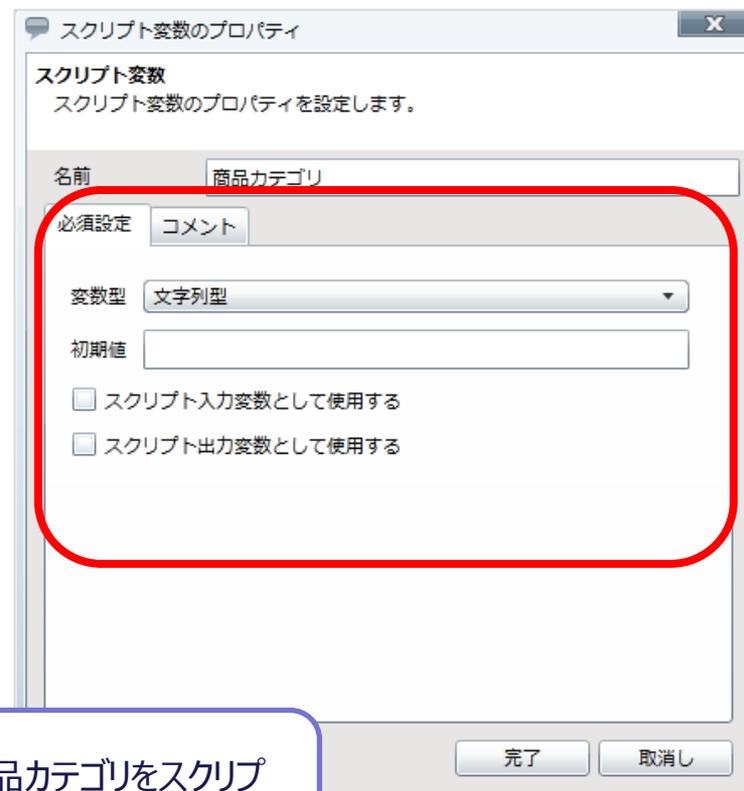
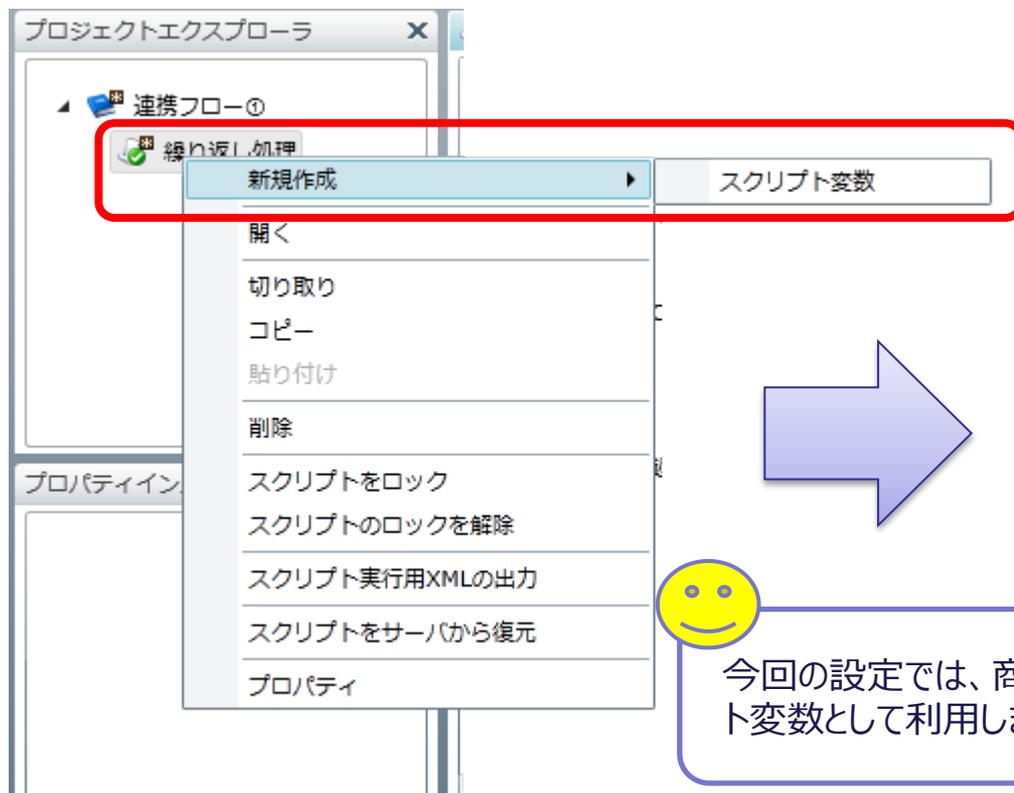
End

②変数代入(3/6)

①スクリプト変数の設定

プロジェクトエクスプローラ> 繰り返し処理を右クリック> 新規作成> スクリプト変数をクリックします。

- ・名前：「商品カテゴリ」と記載
- ・変数型：文字列型



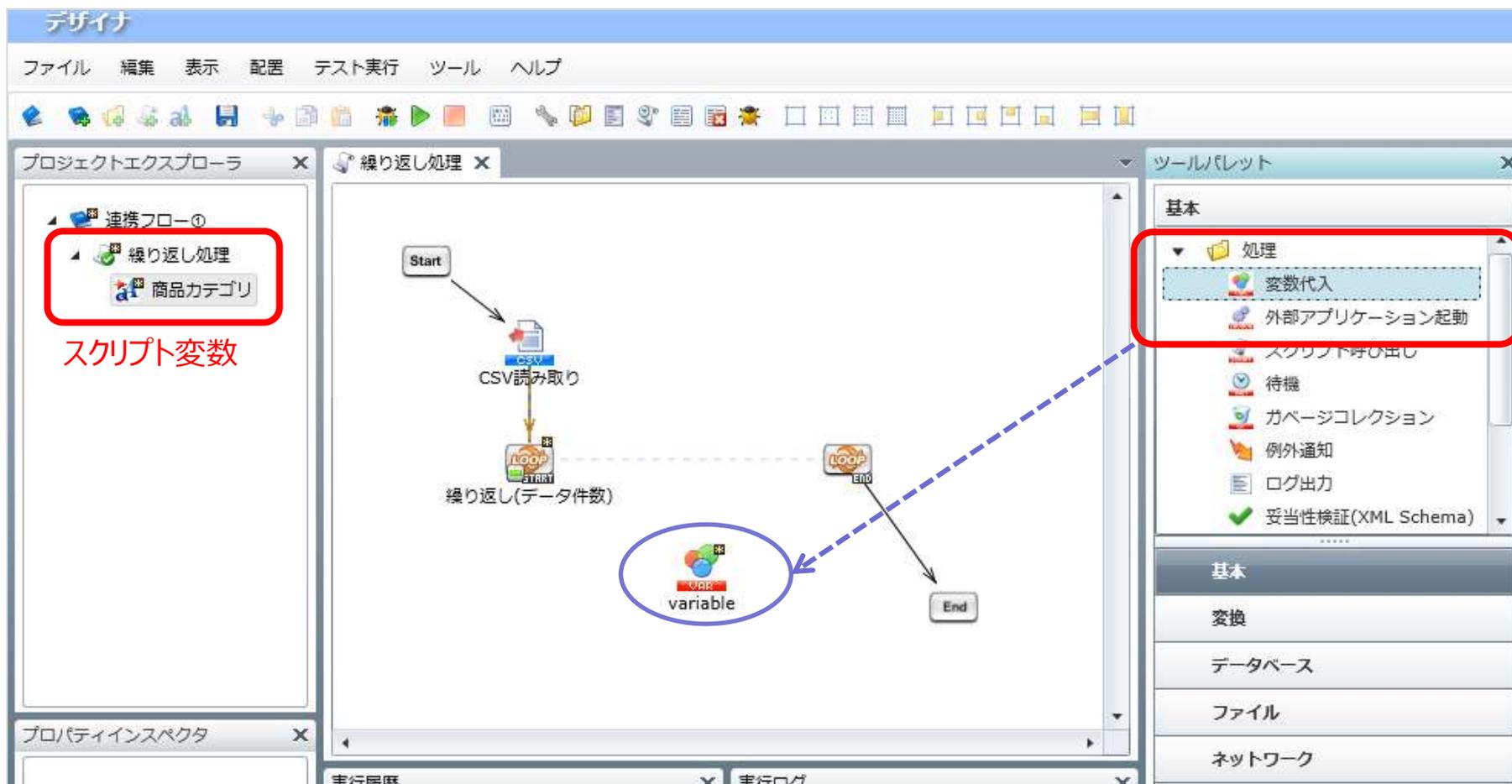
今回の設定では、商品カテゴリをスクリプト変数として利用します。

②変数代入(4/6)

②変数代入の設定

プロジェクトエクスプローラに「商品カテゴリ」というスクリプト変数が出来上がります。

次に、**ツールパレット**>**基本**>**処理**>**変数代入**アイコンをキャンバスにドラッグ&ドロップします。

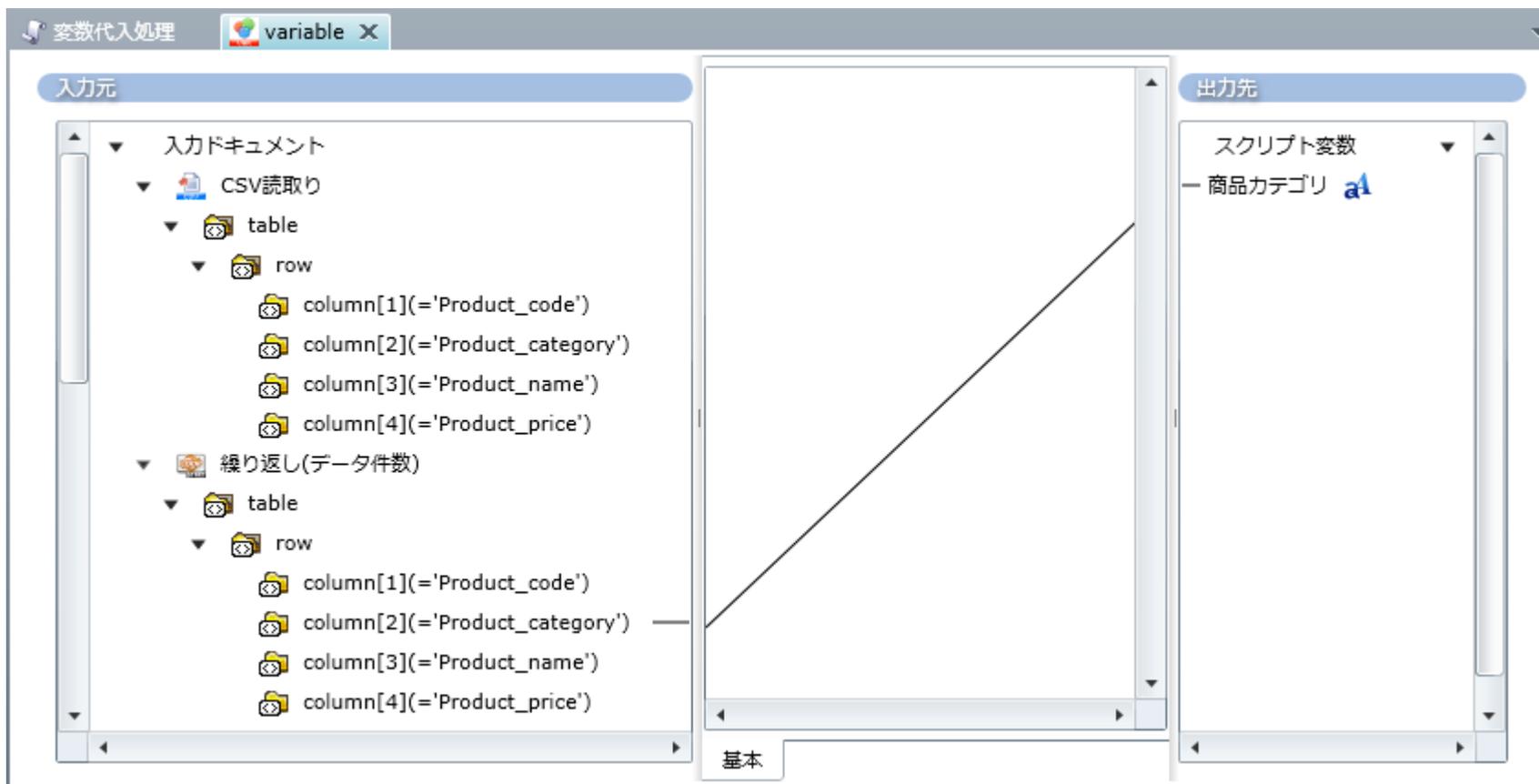


The screenshot shows the SkyOnDemand design tool interface. The main canvas displays a workflow starting with a 'Start' node, followed by a 'CSV読み取り' (CSV loading) node, then a 'LOOP' node labeled '繰り返し(データ件数)' (Loop (Data Item Count)). A dashed blue arrow points from the '変数代入' (Variable Assignment) icon in the 'ツールパレット' (Tool Palette) to a 'variable' icon on the canvas. The 'variable' icon is circled in blue. The 'ツールパレット' (Tool Palette) is open to the '基本' (Basic) category, and the '処理' (Process) sub-category is selected, with the '変数代入' icon highlighted. The 'プロジェクトエクスプローラ' (Project Explorer) on the left shows a folder structure with '繰り返し処理' (Loop Processing) and '商品カテゴリ' (Product Category) highlighted in a red box. Below this box, the text 'スクリプト変数' (Script Variable) is written in red. The '実行ログ' (Execution Log) is visible at the bottom of the interface.

②変数代入(5/6)

②変数代入の設定

変数代入(variable)アイコンをクリックすると、マッピング画面が開きますので、入力元の、**繰り返し(データ件数)アイコン配下にある項目「Product_category」**を、スクリプト変数の「商品カテゴリ」にマッピングをします。



The screenshot shows a software interface for variable mapping. The window title is "変数代入処理" and the active tab is "variable". The interface is divided into three main sections:

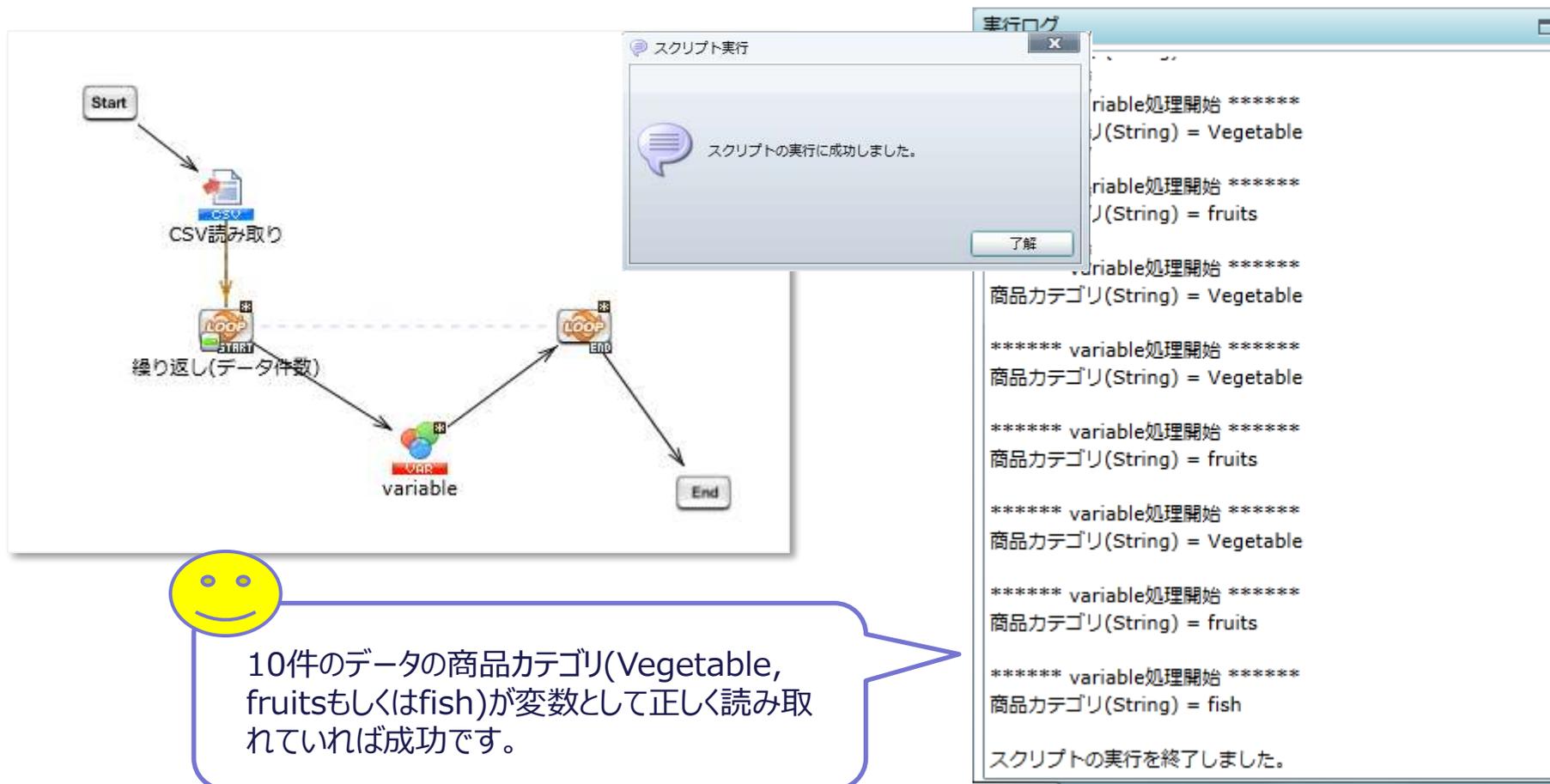
- 入力元 (Input Source):** A tree view showing the data source structure. It includes "入カドキュメント" (Input Document) with a "CSV読取り" (CSV Reading) icon, and "繰り返し(データ件数)" (Repeat (Data Count)) icon. Under "CSV読取り", there is a "table" folder containing a "row" folder with four columns: "column[1](='Product_code')", "column[2](='Product_category')", "column[3](='Product_name')", and "column[4](='Product_price')". The "繰り返し(データ件数)" section also has a "table" folder with a "row" folder and the same four columns.
- 出力先 (Output Destination):** A list of script variables. It shows "スクリプト変数" (Script Variable) with a dropdown arrow, and "商品カテゴリ" (Product Category) with a blue "a" icon.
- Mapping Area:** A central workspace where a line connects the "column[2](='Product_category')" item from the "繰り返し(データ件数)" section to the "商品カテゴリ" variable in the "出力先" section.

At the bottom of the interface, there is a tab labeled "基本" (Basic).

②変数代入(6/6)

③変数代入の設定完了

最後に設定したアイコンをSTARTからENDに向けてプロセスフローを引きます。
画面上のデバック実行で処理を動かしてみましょう。



実行ログ

```
variable処理開始 *****
商品カテゴリ(String) = Vegetable
variable処理開始 *****
商品カテゴリ(String) = fruits
variable処理開始 *****
商品カテゴリ(String) = Vegetable
***** variable処理開始 *****
商品カテゴリ(String) = Vegetable
***** variable処理開始 *****
商品カテゴリ(String) = fruits
***** variable処理開始 *****
商品カテゴリ(String) = Vegetable
***** variable処理開始 *****
商品カテゴリ(String) = fruits
***** variable処理開始 *****
商品カテゴリ(String) = fish
スクリプトの実行を終了しました。
```

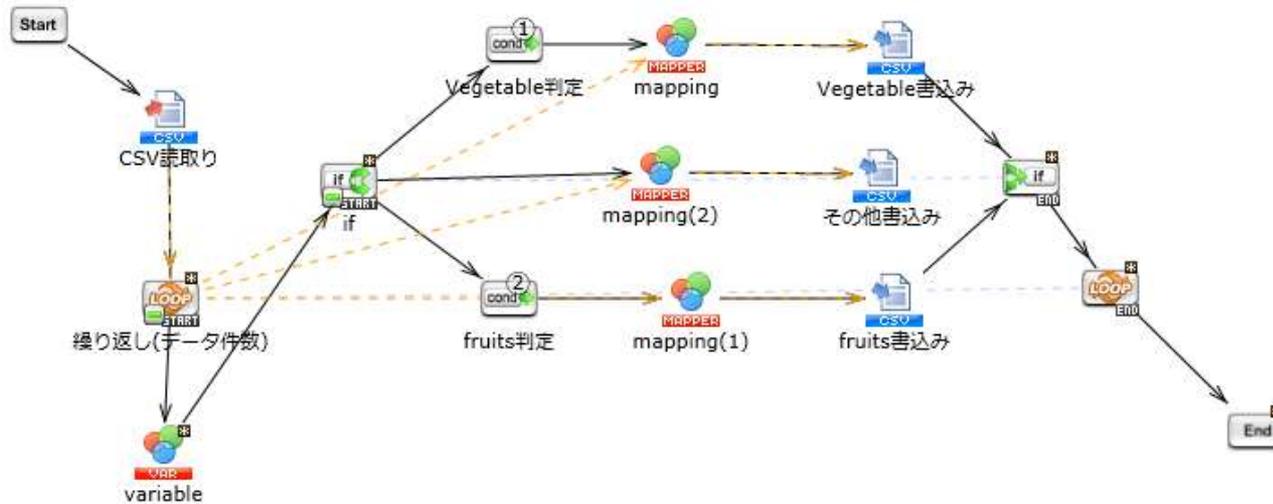
10件のデータの商品カテゴリ(Vegetable, fruitsもしくはfish)が変数として正しく読み取られていれば成功です。

③条件分岐(1/15)

【作成処理】

「変数代入」処理で代入した商品カテゴリの値うち、値が「Vegetable」「fruits」のデータをそれぞれCSVファイルに出力します。また、どちらのカテゴリにも属さないデータは、まとめてCSVファイルに出力します。

完成イメージ

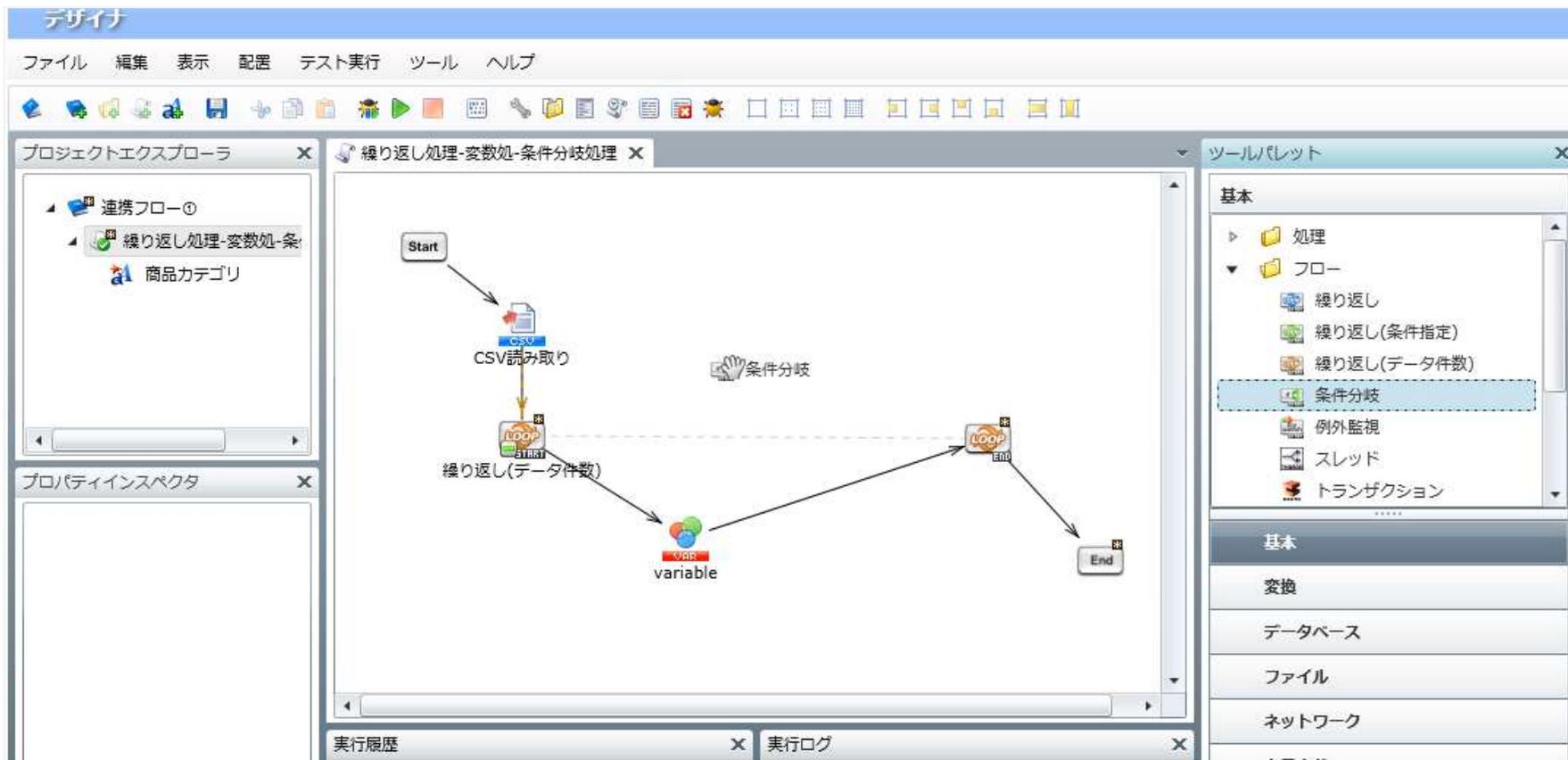


③条件分岐(2/15)

①条件分岐アイコンの設定

先ほどの処理から続けて作成をします。

ツールパレット> 基本> フロー> 条件分岐アイコンをキャンバスにドラッグ & ドロップします。

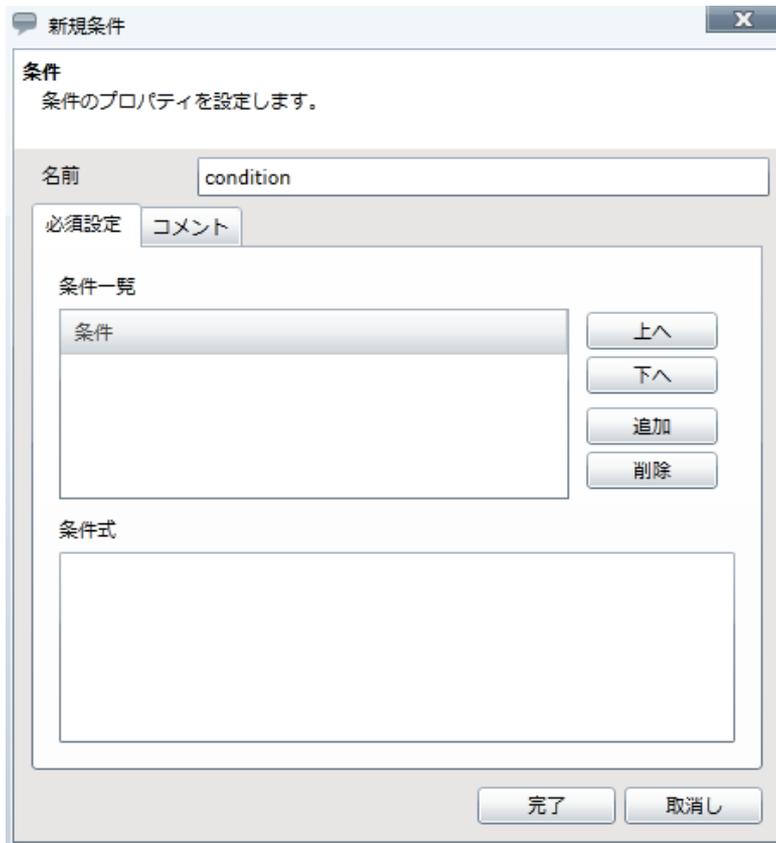


③条件分岐(3/15)

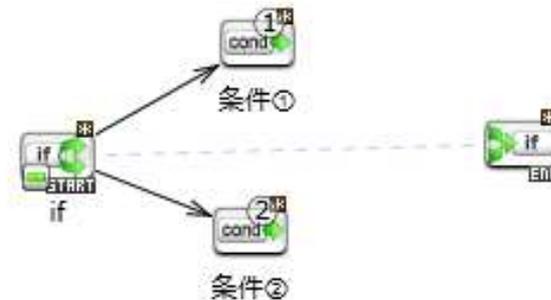
②条件1の設定

条件設定プロパティが表示されます。
こちらで条件の設定を行います。

【条件設定画面】



【条件分岐アイコンの仕組み】



● **条件分岐開始**
条件分岐を開始します。



● **条件**
条件を設定します。1つの条件で複数の条件を作成できます。

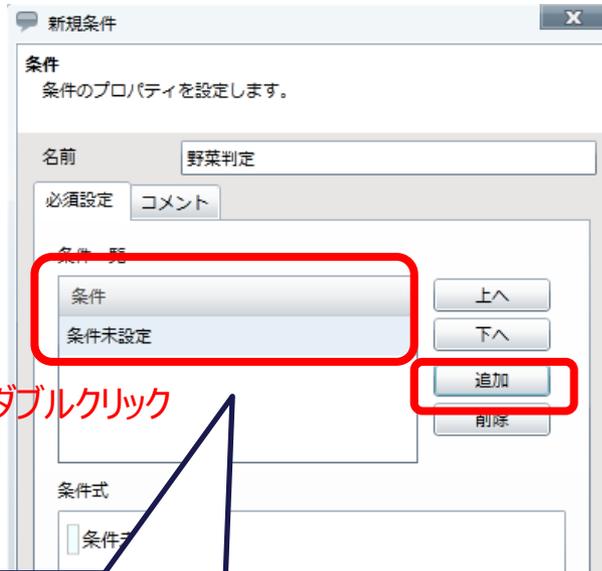


● **条件分岐終了**
条件分岐の終了です。

③条件分岐(4/15)

②条件1の設定

1つ目の条件：「商品カテゴリがVegetableのデータ抽出する」設定をいたします。
追加ボタンをクリック>「条件未設定」をダブルクリックし、条件の設定を行います。



新規条件

条件
条件のプロパティを設定します。

名前

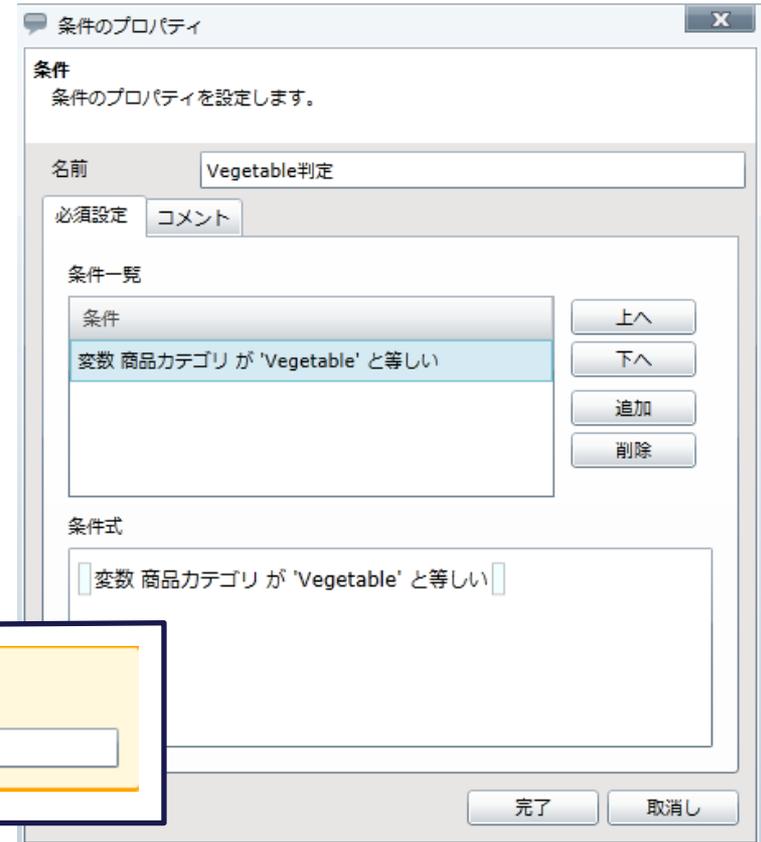
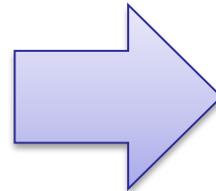
必須設定 コメント

条件一覧

条件	上へ
条件未設定	下へ

追加
削除

条件式



条件のプロパティ

条件
条件のプロパティを設定します。

名前

必須設定 コメント

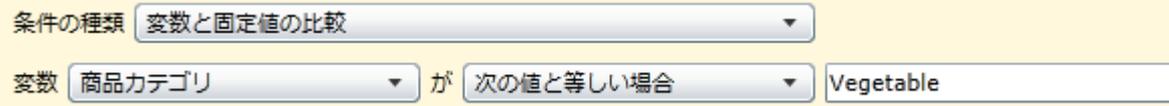
条件一覧

条件	上へ
変数 商品カテゴリ が 'Vegetable' と等しい	下へ

追加
削除

条件式

完了 取消し



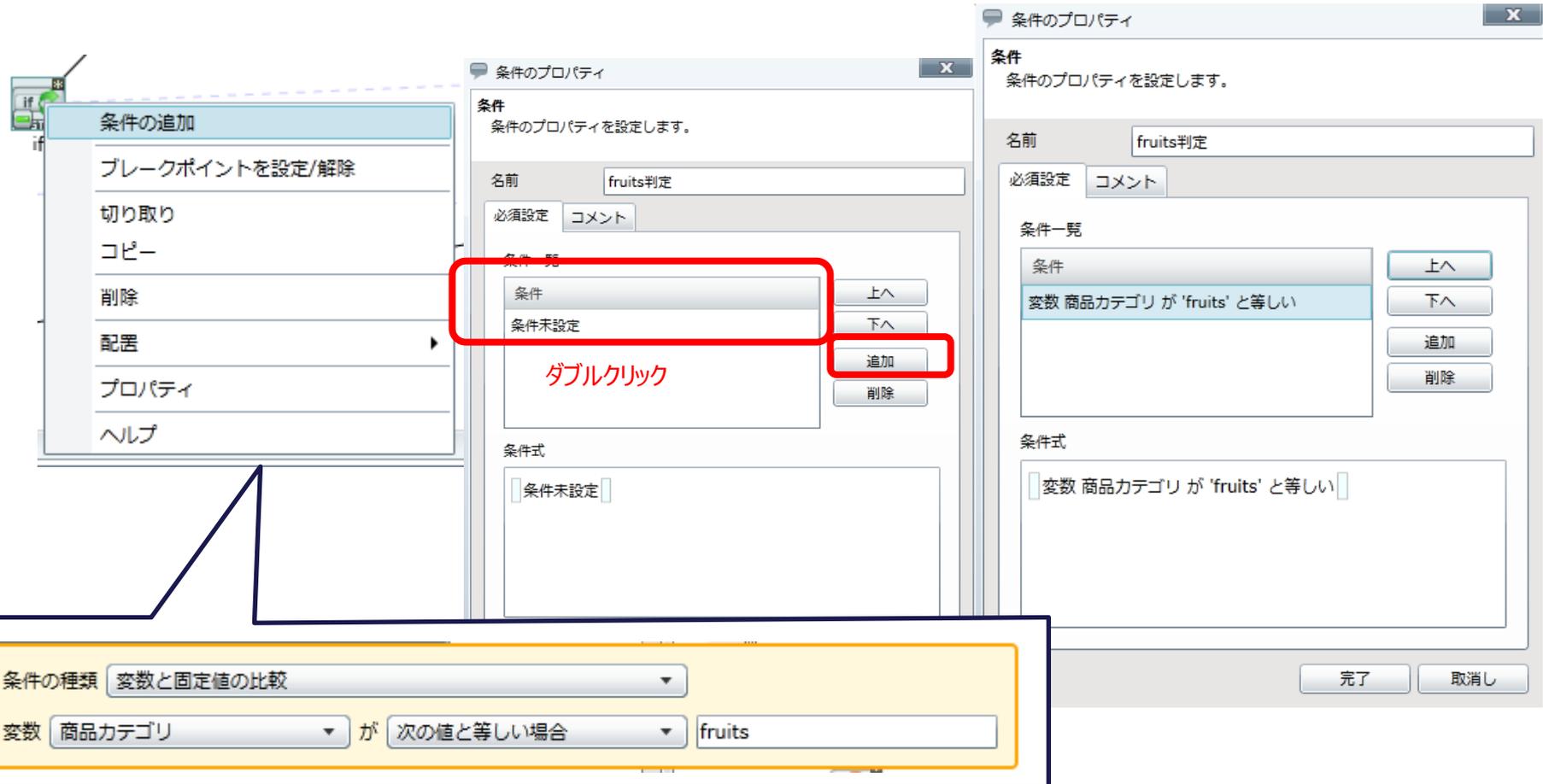
条件の種類

変数 が

③条件分岐(5/15)

③条件2の設定

2つ目の条件：「商品カテゴリがfruitsのデータを抽出する」設定いたします。
「条件分岐開始」ボタンを右クリックし、「条件の追加」をクリックします。
1つ目の条件設定と同様に、条件の設定を行います。



条件のプロパティ

条件
条件のプロパティを設定します。

名前 fruits判定

必須設定 コメント

条件一覧

条件	操作
変数 商品カテゴリ が 'fruits' と等しい	上へ
	下へ
	追加
	削除

条件式

変数 商品カテゴリ が 'fruits' と等しい

完了 取消し

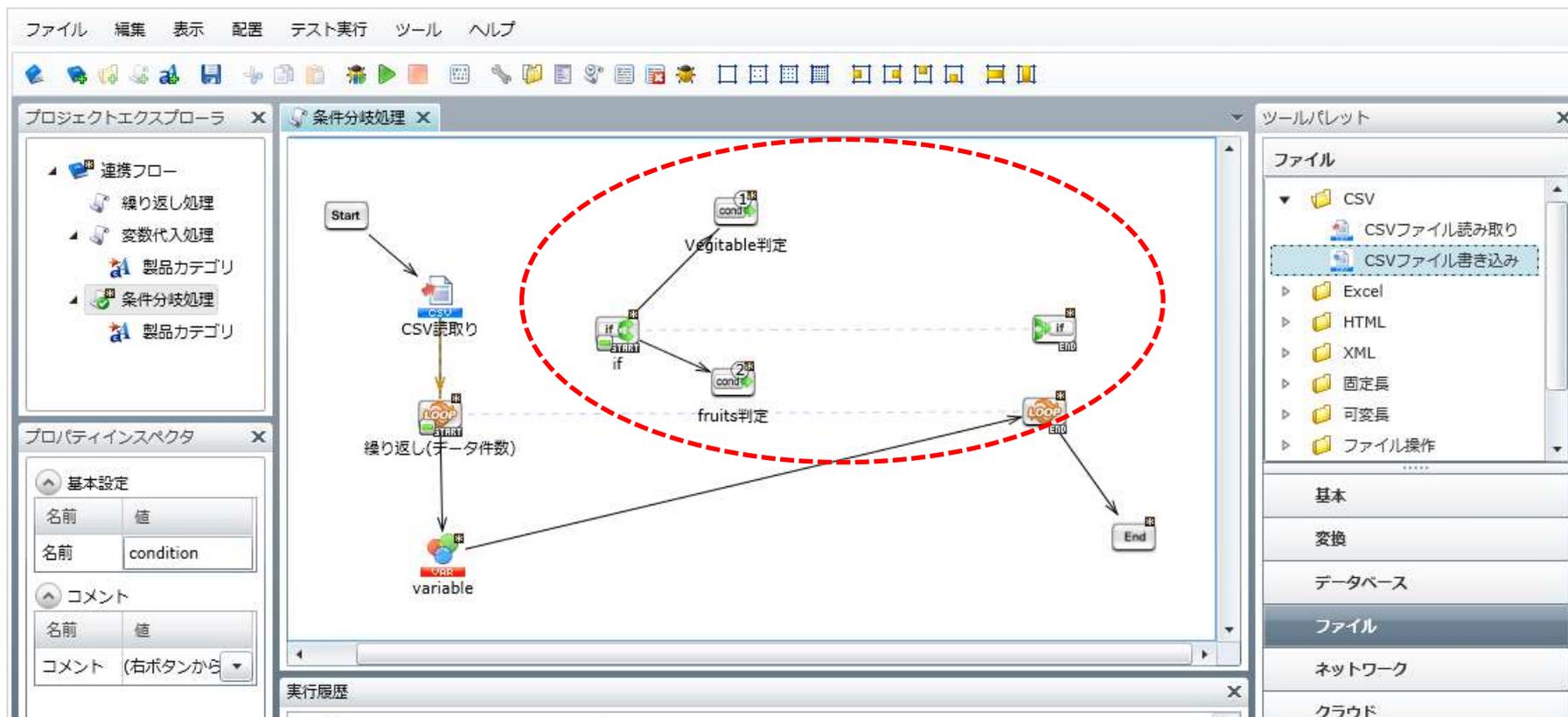
条件の種類 変数と固定値の比較

変数 商品カテゴリ が 次の値と等しい場合 fruits

③条件分岐(6/15)

③条件2の設定

これで条件の設定は完了です。

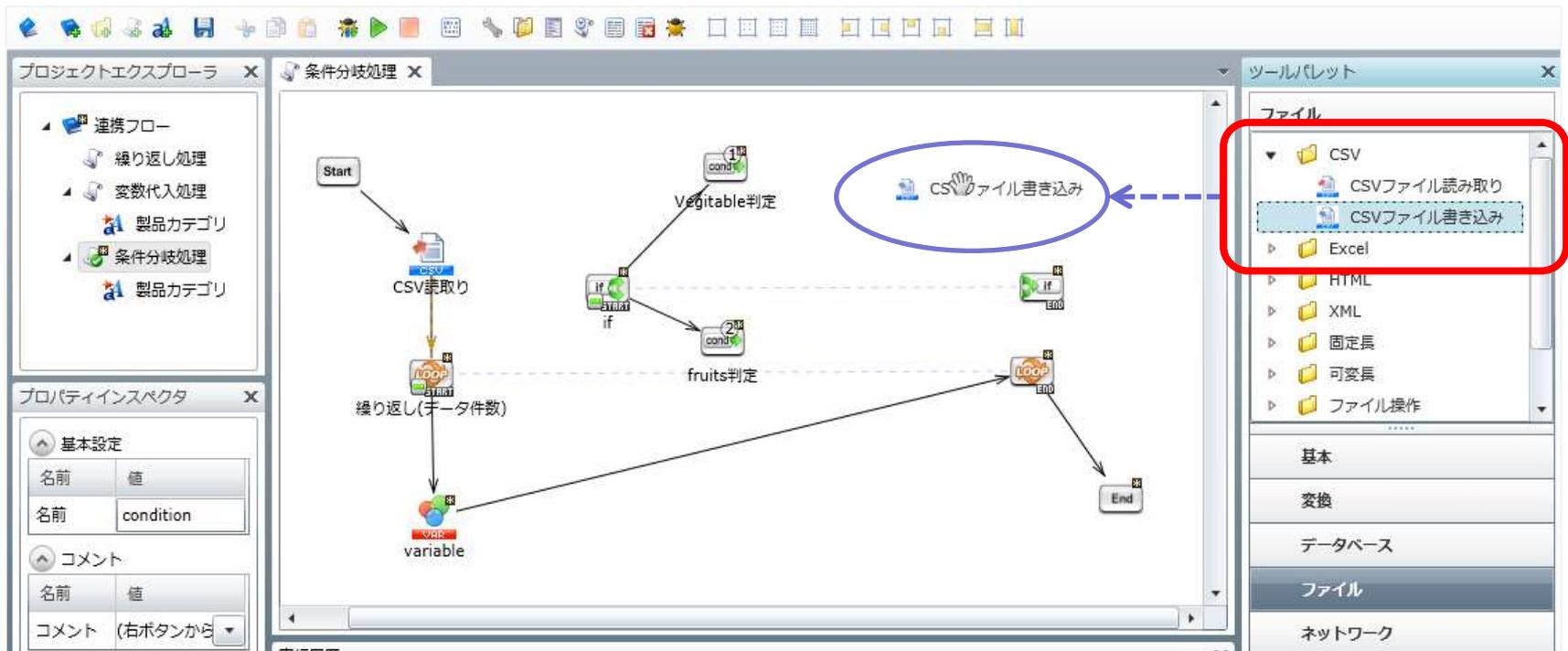


③条件分岐(7/15)

④条件1に合致した値をCSVに書き込み

次に、条件に合致した値をCSVに書き込む設定を行います。

ツールパレット> ファイル> CSV> CSVの書き込みアイコンをキャンバスにドラッグ & ドロップします。



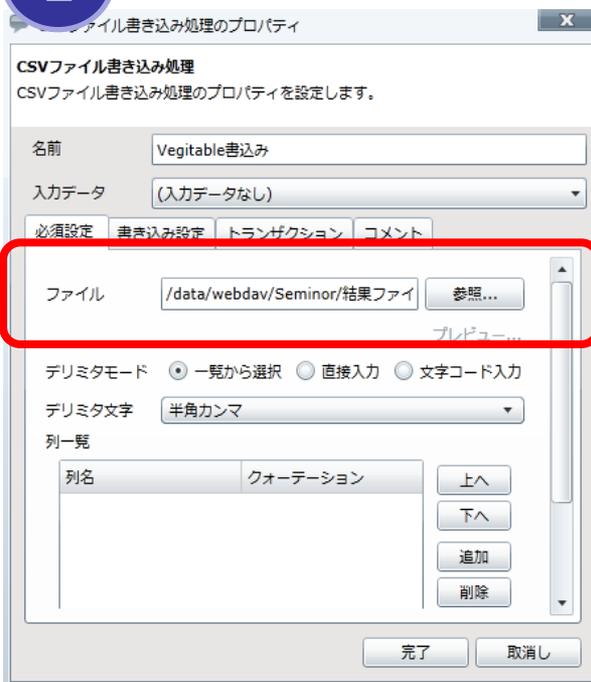
③条件分岐(8/15)

④条件1に合致した値をCSVに書き込み

CSV書き込み設定プロパティが開きますので、

- 書き込み先のファイルパス、列一覧の設定を行います。
- 「書き込み設定」タブの「追加書き込み」に✓をいれます。

1 ファイルパスの設定



CSVファイル書き込み処理のプロパティ

CSVファイル書き込み処理
CSVファイル書き込み処理のプロパティを設定します。

名前: Vegitable書き込み

入力データ: (入力データなし)

必須設定 書き込み設定 トランザクション コメント

ファイル: /data/webdav/Seminor/結果ファイル 参照...

プレビュー...

デリミタモード: 一覧から選択 直接入力 文字コード入力

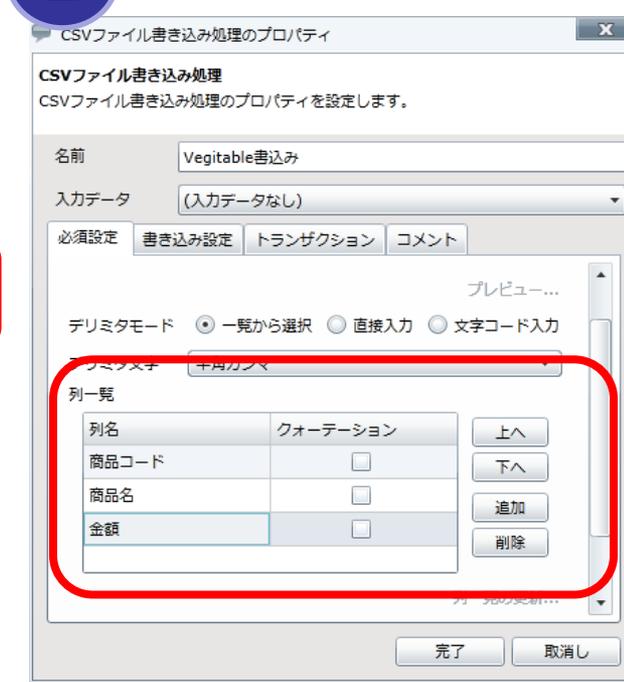
デリミタ文字: 半角カンマ

列名	クォーテーション

上へ 下へ 追加 削除

完了 取消し

2 列一覧の設定



CSVファイル書き込み処理のプロパティ

CSVファイル書き込み処理
CSVファイル書き込み処理のプロパティを設定します。

名前: Vegitable書き込み

入力データ: (入力データなし)

必須設定 書き込み設定 トランザクション コメント

プレビュー...

デリミタモード: 一覧から選択 直接入力 文字コード入力

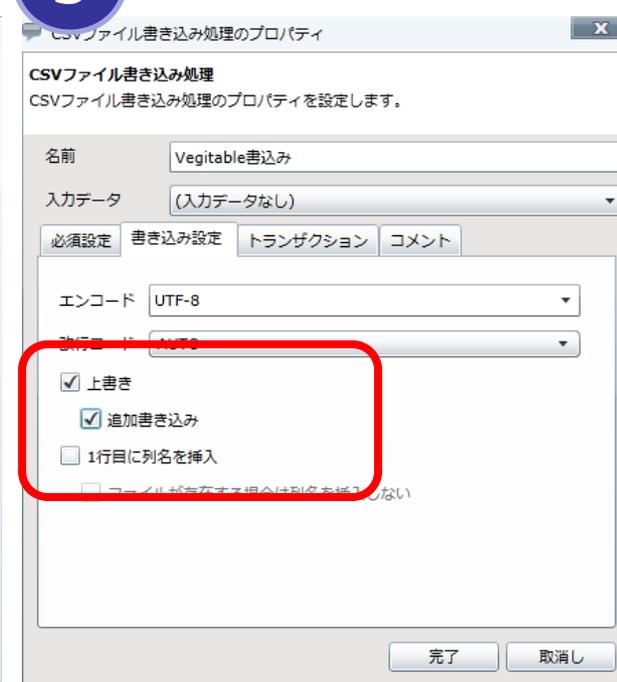
プレビュー文字: 半角カンマ

列名	クォーテーション
商品コード	<input type="checkbox"/>
商品名	<input type="checkbox"/>
金額	<input type="checkbox"/>

上へ 下へ 追加 削除

完了 取消し

3 オプション設定



CSVファイル書き込み処理のプロパティ

CSVファイル書き込み処理
CSVファイル書き込み処理のプロパティを設定します。

名前: Vegitable書き込み

入力データ: (入力データなし)

必須設定 書き込み設定 トランザクション コメント

エンコード: UTF-8

実行モード: (入力データなし)

上書き

追加書き込み

1行目に列名を挿入

コーセルが存在する場合は列名を挿入しない

完了 取消し

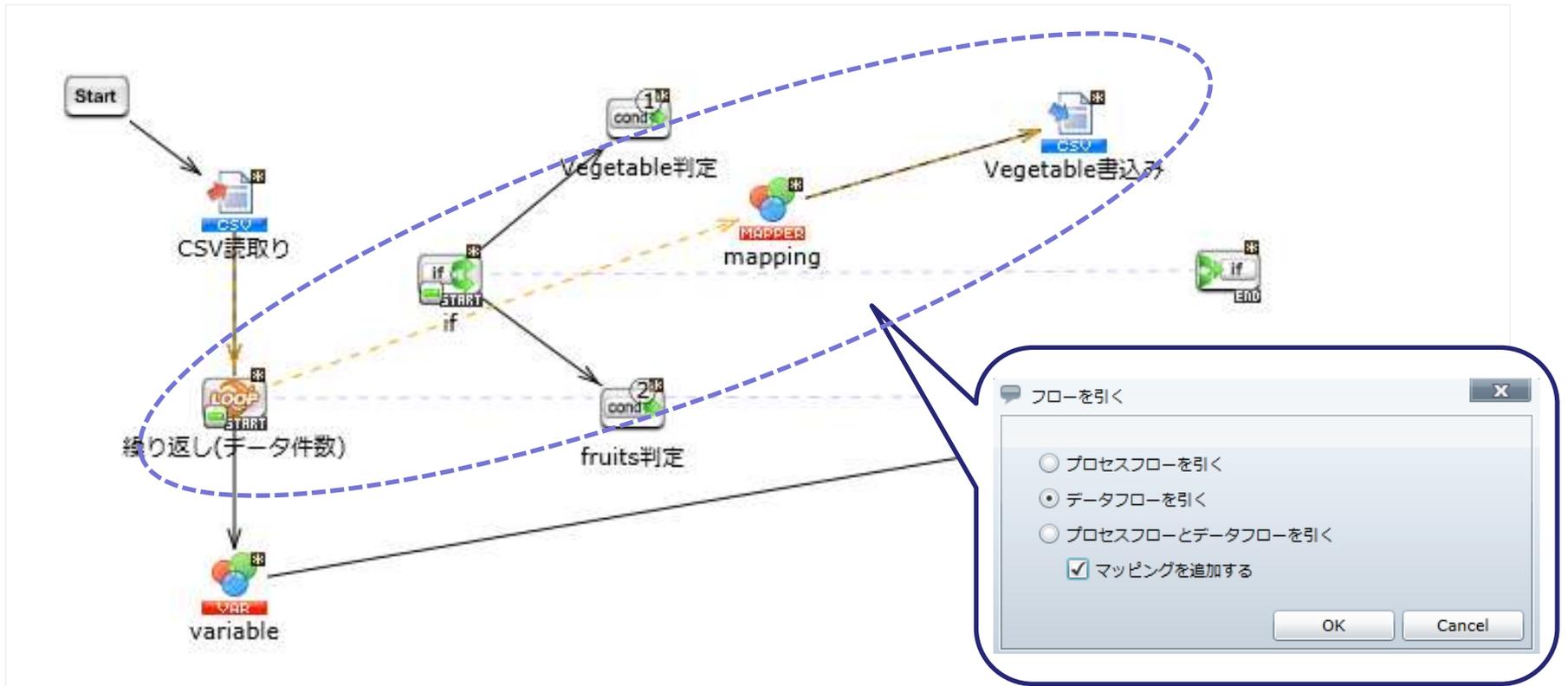
※CSVへの書き込み設定手順は、「第3回オンラインセミナー さわってみよう②」のP18～P22でご紹介していますので、ご確認ください！

③条件分岐(9/15)

④条件1に合致した値をCSVに書き込み

次に、CSVへ書き込みアイコンへのマッピングの設定を行います。

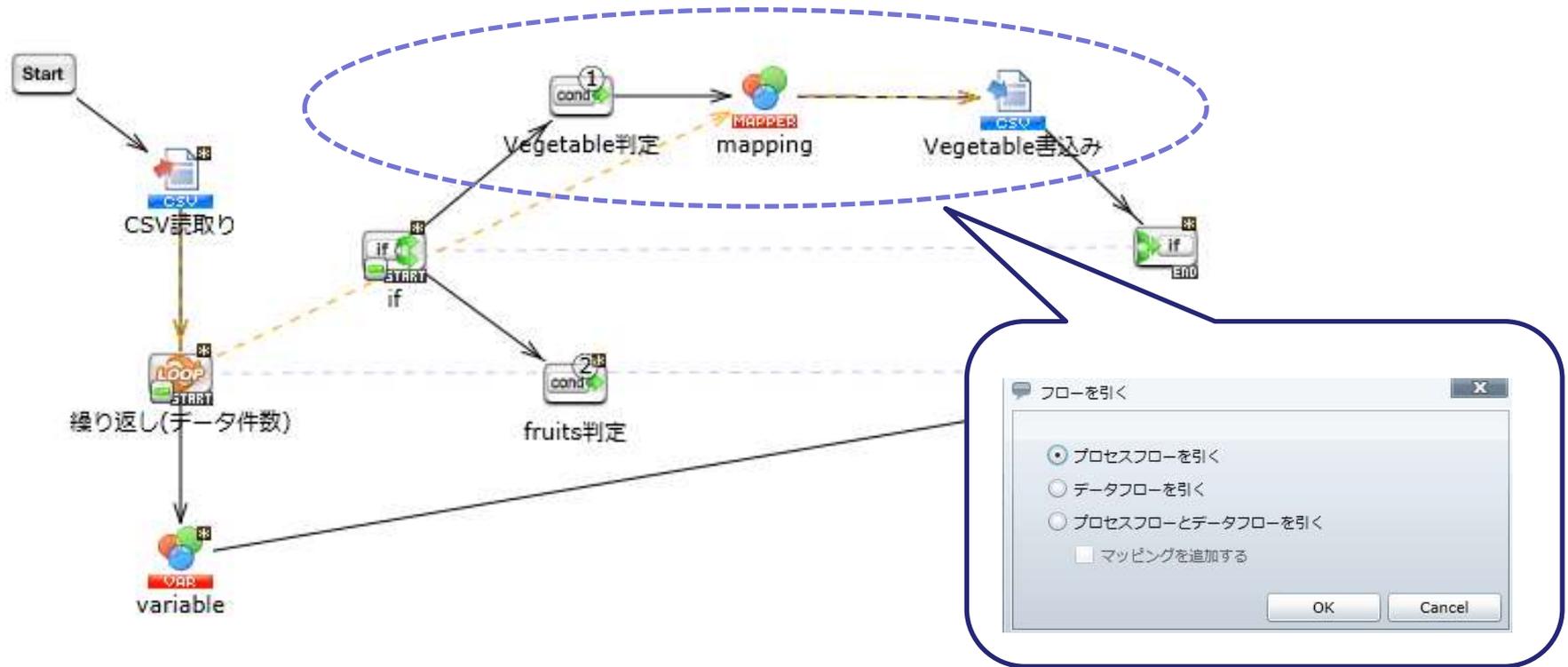
繰り返し(データ件数)からVegetable書き込みCSVにデータフローを引き、マッピングを追加します。



③条件分岐(10/15)

④条件1に合致した値をCSVに書き込み

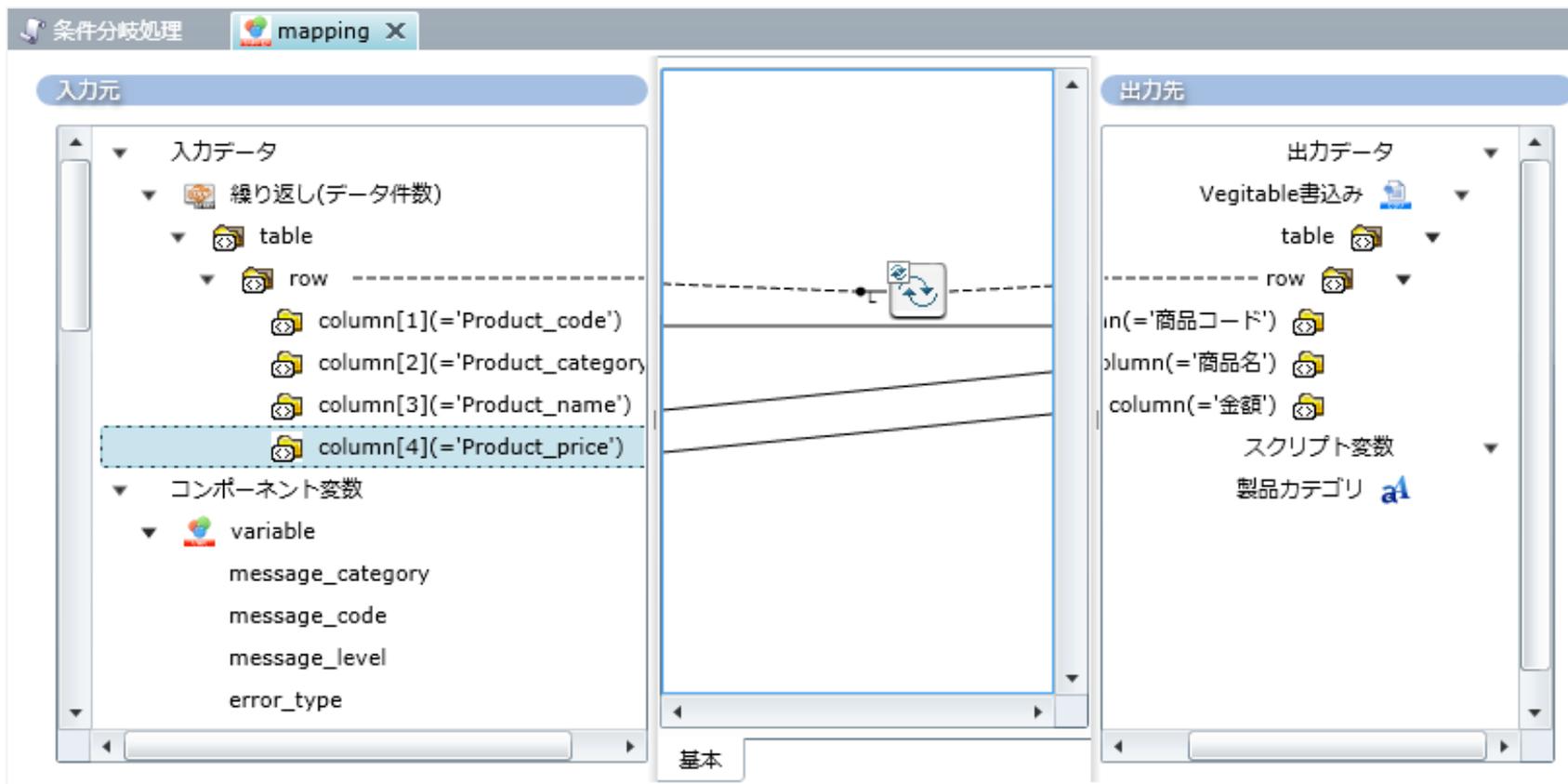
次に、条件(野菜判定)アイコン→マッピングアイコン→Vegetable書き込みCSVの順に、プロセスフローを引きます。



③条件分岐(11/15)

④条件1に合致した値をCSVに書き込み

マッピングアイコンを開き、CSV書き込み設定で設定した項目「商品コード」「商品名」「金額」に項目移送の設定を行います。



The screenshot displays a mapping configuration window titled "mapping X" with a sub-tab "条件分岐処理". It is divided into three main sections: "入力元" (Input Source), a central workspace, and "出力先" (Output Destination).

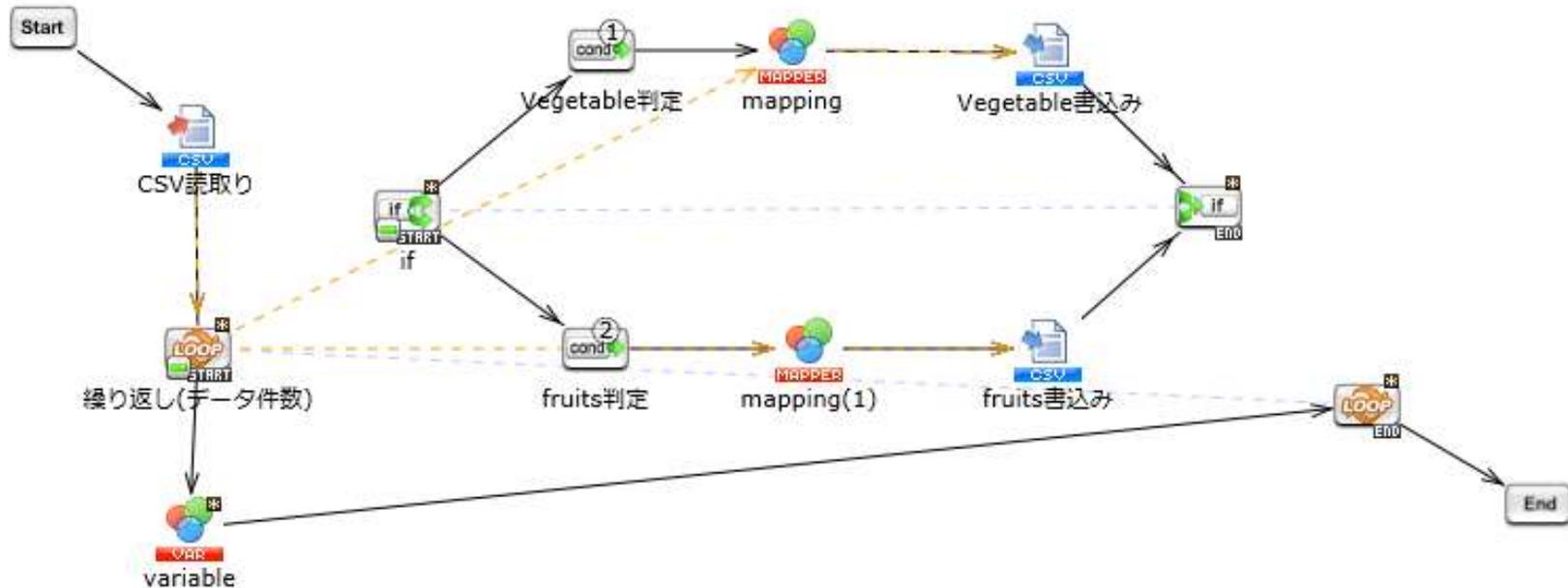
- 入力元 (Input Source):** Contains a tree view under "入力データ" (Input Data). It includes a "繰り返し(データ件数)" (Repeat (Data Count)) folder, a "table" folder, and a "row" folder. Under "row", there are four "column" items: "column[1](='Product_code')", "column[2](='Product_category')", "column[3](='Product_name')", and "column[4](='Product_price')". The "column[4]" item is highlighted with a dashed border. Below this is a "コンポーネント変数" (Component Variable) section with a "variable" folder containing "message_category", "message_code", "message_level", and "error_type".
- 出力先 (Output Destination):** Contains a tree view under "出力データ" (Output Data). It includes a "Vegitable書き込み" (Vegitable Write) folder, a "table" folder, and a "row" folder. Under "row", there are three "column" items: "column[1](='商品コード')", "column[2](='商品名')", and "column[3](='金額')". Below this is a "スクリプト変数" (Script Variable) section with a "製品カテゴリ" (Product Category) item.
- マッピング:** A central workspace shows a dashed line connecting the "row" folder in the input to the "row" folder in the output. A mapping icon (a square with a circular arrow) is positioned on this line. Solid lines connect the "column[1]" item in the input to the "column[1]" item in the output, and the "column[4]" item in the input to the "column[3]" item in the output.

At the bottom of the window, there is a "基本" (Basic) tab selected.

③条件分岐(12/15)

⑤条件設定～CSV書き込み処理の完成

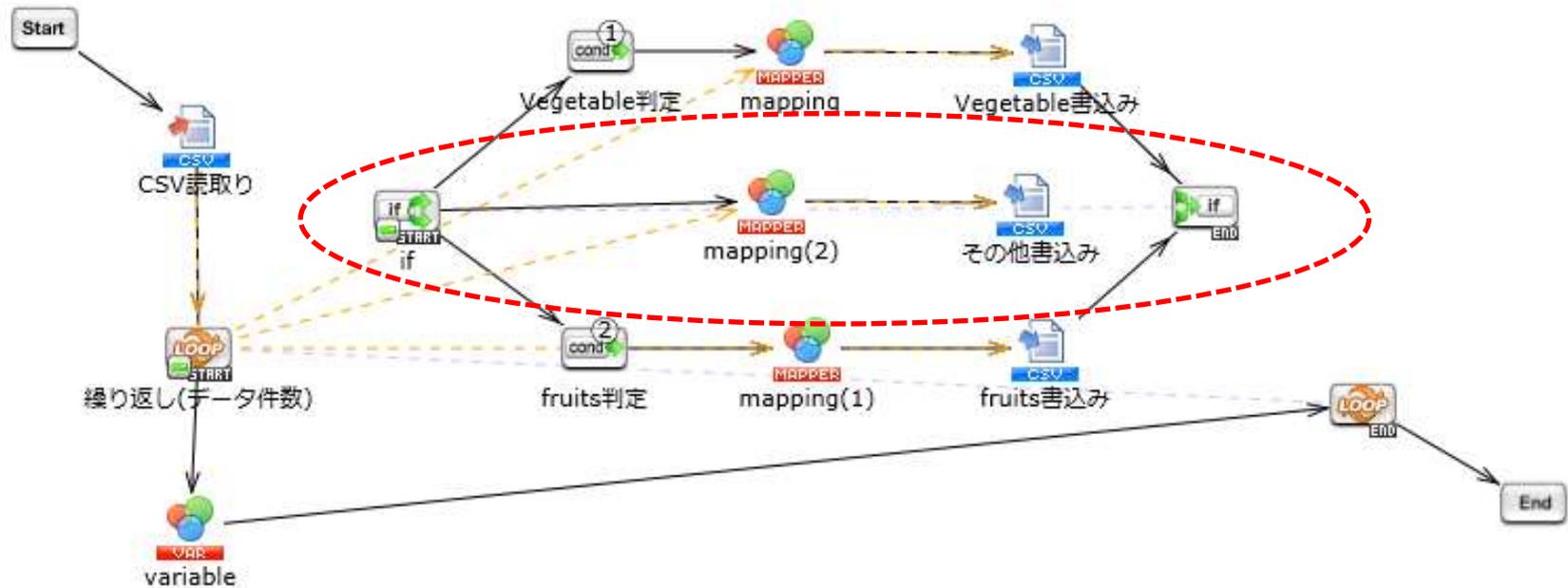
条件2(商品カテゴリがfruitsと等しい場合)も同様に設定を行い、「Vegetable書き込み」アイコンと「fruits書き込み」アイコンを、条件分岐終了アイコンへプロセスフローを引きます。



③条件分岐(13/15)

⑤条件設定～CSV書き込み処理の完成

商品カテゴリが「Vegetable」でも「fruits」にも合致しなかったデータは、その他カテゴリとして、CSVファイルに出力します。
※設定方法は、「vegetable」や「fruits」の場合と同様です。

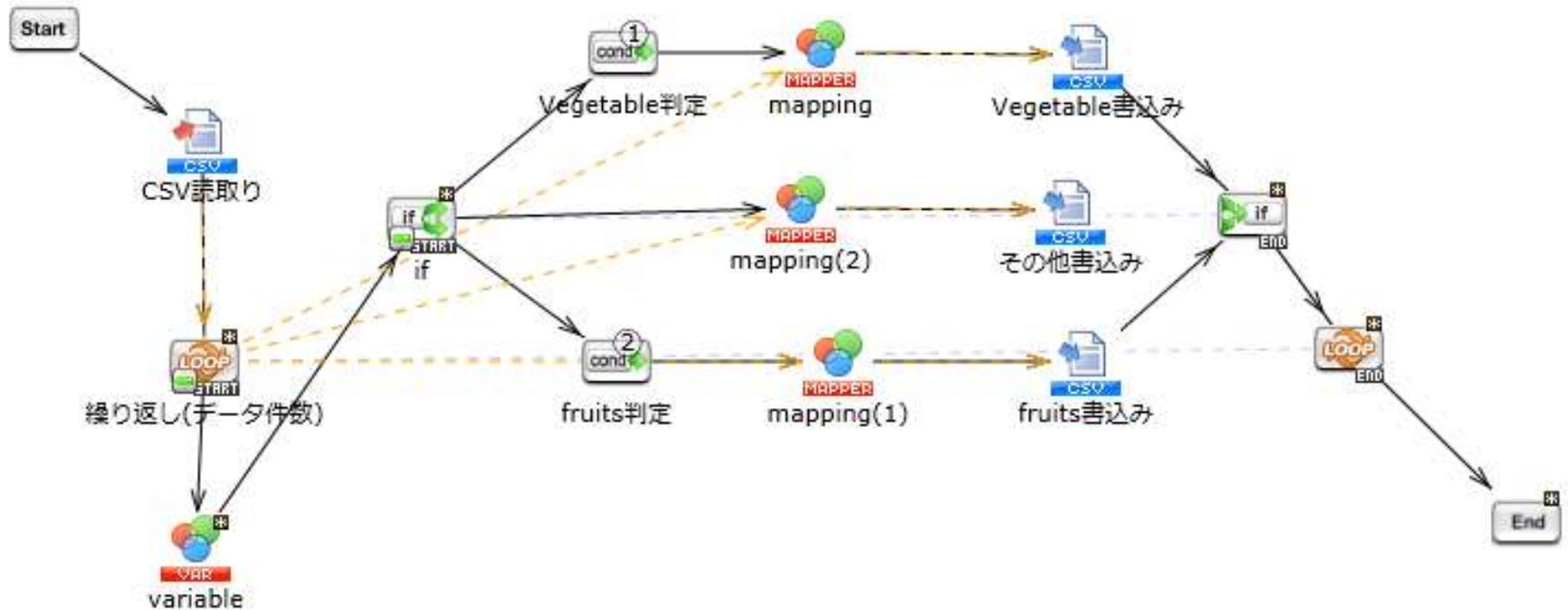


条件に合致しない場合、**条件分岐開始**からフローが引かれた後続の処理が実行されます。後続の処理が存在しない場合は、**条件分岐終了**に移ります。

③条件分岐(14/15)

⑥条件分岐処理の完成

最後に、「変数」アイコンから「条件分岐開始」アイコンへ、「条件分岐終了」アイコンから「繰り返しEND」アイコンへプロセスフローをつなぎます。



これで設定は完了です！

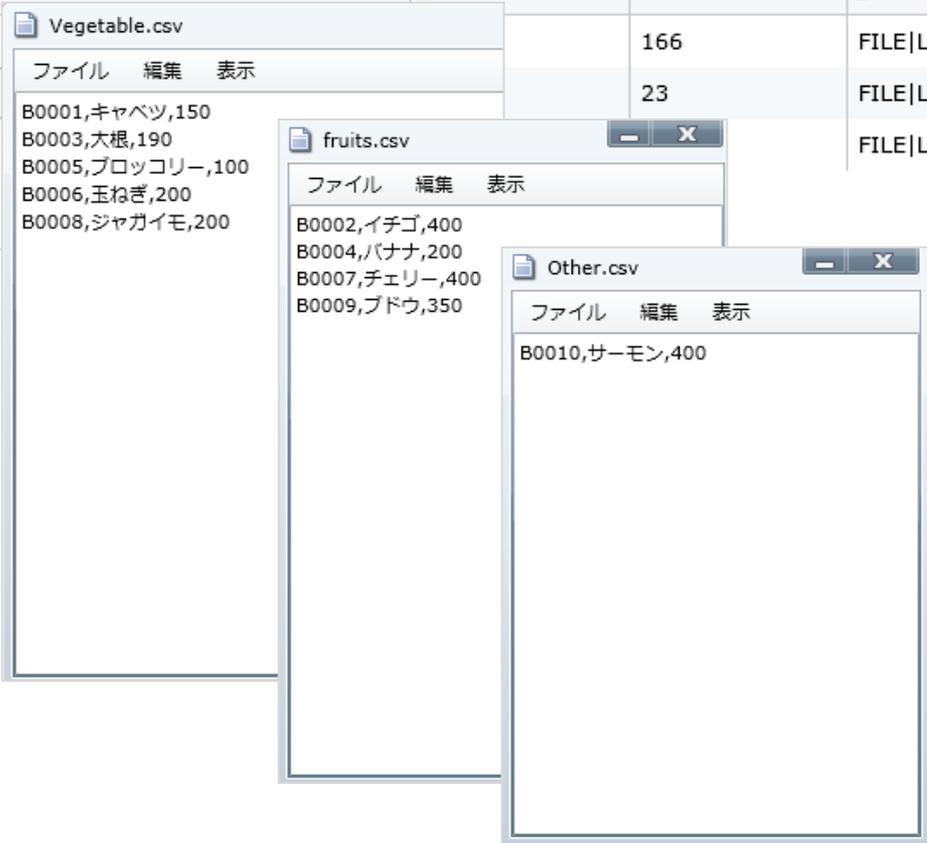
③条件分岐(15/15)

⑦処理の実行

最後に処理を実行して結果を確認してみましょう。

エクスプローラにCSVファイルが3つ、それぞれ作成が出来れば完成です。

名前	ロック	サイズ	種類	更新日時	属性
Aa	Aa	=	Aa	=	Aa
fruits.csv		166	FILE LOCAL EXTE	2014/10/20 17:5!	rw-r--r--
Other.csv		23	FILE LOCAL EXTE	2014/10/20 17:5!	rw-r--r--
Vegetable.csv			FILE LOCAL EXTE	2014/10/20 17:5!	rw-r--r--



本日のゴール

各アイコン「繰り返し」「変数代入」「条件分岐」の使い方を理解する。

SkyOnDemandの活用事例が知りたい！

- 10月28日(火) クラウド連携のスタンダード【SkyOnDemand】ご紹介 & 体験セミナー
第1部 ご紹介セミナー
▼お申込みはこちらから
<http://www.terrasky.co.jp/event/2014/1028-001.php>

SkyOnDemandを実際に試してみたい！

- 10月28日(火) クラウド連携のスタンダード【SkyOnDemand】ご紹介 & 体験セミナー
第2部 体験セミナー
▼お申込みはこちらから
<http://www.terrasky.co.jp/event/2014/1028-001.php>
- トライアル(1ヶ月)お申込み
▼お申込みはこちらから
<https://www.terrasky.co.jp/contact/trial/index.php>

その他ご質問事項

下記までお気軽にご連絡ください！

TEL : 03-5255-3411

Email: product.sales@terrasky.co.jp

～7回：基本編～

日時：11月18日(火) 16:30～16:55

作ってみよう②
～連携フロー：複数データのマージ、エラー処理で
効率的な運用を実現！



**ご清聴ありがとうございました
アンケートにご協力ください。**

